

【研究報告】

刑罰とりわけ死刑に関する全国意識調査基本報告書

—— 2014 年 3 月調査 ——

河合 幹雄、葛野 尋之、木下 麻奈子
平山 真理、久保 秀雄、木村 正人

第一章 刑罰とりわけ死刑に関する全国意識調査の位置づけ

・はじめに

本調査は、科学研究費助成事業、新学術領域研究(研究領域提案型)「法と人間科学」の A02 班「刑罰と犯罪抑止 厳罰化と死刑の効果を信じる人々はどうすれば意見をかえるのか」研究課題番号: 23101003 の助成を受けて 2014 年 3 月から 4 月にかけて実施されたものである。

なお、本領域について、六名の共同研究者からなる本研究班については、下記のホームページに詳細を掲示している。

<http://law-human.let.hokudai.ac.jp/group/a01/kawai/>

・問題意識

新聞社や内閣府による世論調査によれば、人々は、凶悪犯罪に対して、厳罰化を求め、死刑を容認するものが増えているといわれている。しかし、これは本当であろうか。正確に測定することには、技術的な側面と、何が人々の真意かという観点の二点から検討が必要である。人々が、犯罪状況や刑事司法制度について正しい知識を持ったうえで判断しているのか精査したい。

ただし、本報告書では、調査方法と単純集計を精査し、調査の信頼性を確認することを中心とする。

・調査方法

現時点での日本人の意識調査をできるだけ正確にするために、全国対象にサンプリングし 1000 以上の回答を集めることを目標とした。

実施の依頼をする調査会社は、これまでの経験と実績を踏まえて中央調査社とした。具体的な調査方法は以下のようにした。

【地域】日本全国

【対象者】20 歳以上の男女

【サンプル数】2500 人

【抽出方法】層化二段無作為抽出

【抽出台帳】住民基本台帳

【調査方法】郵送、留置法

【謝礼】500 円クオカード

層化二段無作為抽出は、

性・

年代 (20 代、30 代、40 代、50 代、60 代、70 歳以上)・

地域ごと①政令指定都市、②その他の市、③町村

実際の調査地点は以下の 166 地点であった。

桐蔭法学 22 卷 1 号 (2015 年)

| 県 | 政令市、郡 | 区市町村 | 対象数 | 県 | 政令市、郡 | 区市町村 | 対象数 |
|-----|-------|-------|-----|-----|-------|-------|-----|
| 北海道 | 札幌市 | 東区 | 13 | 福井県 | 三方上中郡 | 若狭町 | 7 |
| 北海道 | 札幌市 | 南区 | 13 | 山梨県 | | 笛吹市 | 15 |
| 北海道 | 札幌市 | 清田区 | 12 | 長野県 | | 松本市 | 15 |
| 北海道 | | 小樽市 | 17 | 長野県 | | 佐久市 | 15 |
| 北海道 | | 帯広市 | 17 | 岐阜県 | | 大垣市 | 17 |
| 北海道 | | 砂川市 | 17 | 岐阜県 | | 可児市 | 17 |
| 北海道 | 雨竜郡 | 沼田町 | 11 | 岐阜県 | 揖斐郡 | 揖斐川町 | 12 |
| 北海道 | 中川郡 | 幕別町 | 10 | 静岡県 | 静岡市 | 駿河区 | 14 |
| 青森県 | | 弘前市 | 16 | 静岡県 | 浜松市 | 浜北区 | 15 |
| 青森県 | 三戸郡 | 南部町 | 12 | 静岡県 | | 伊東市 | 17 |
| 岩手県 | | 盛岡市 | 16 | 静岡県 | | 藤枝市 | 16 |
| 岩手県 | | 奥州市 | 16 | 愛知県 | 名古屋市 | 東区 | 15 |
| 宮城県 | 仙台市 | 青葉区 | 10 | 愛知県 | 名古屋市 | 瑞穂区 | 14 |
| 宮城県 | 仙台市 | 太白区 | 10 | 愛知県 | 名古屋市 | 緑区 | 14 |
| 宮城県 | | 東松島市 | 16 | 愛知県 | | 豊橋市 | 16 |
| 宮城県 | 黒川郡 | 大和町 | 12 | 愛知県 | | 一宮市 | 16 |
| 秋田県 | | 由利本荘市 | 16 | 愛知県 | | 豊川市 | 16 |
| 山形県 | | 酒田市 | 16 | 愛知県 | | 安城市 | 16 |
| 山形県 | 飽海郡 | 遊佐町 | 11 | 愛知県 | | 稲沢市 | 16 |
| 福島県 | | 二本松市 | 16 | 愛知県 | | 清須市 | 16 |
| 福島県 | | 伊達市 | 16 | 愛知県 | 知多郡 | 阿久比町 | 11 |
| 茨城県 | | 水戸市 | 17 | 三重県 | | 四日市市 | 16 |
| 茨城県 | | 鹿嶋市 | 17 | 三重県 | | 名張市 | 16 |
| 茨城県 | | 守谷市 | 17 | 滋賀県 | | 大津市 | 16 |
| 茨城県 | 北相馬郡 | 利根町 | 14 | 京都府 | 京都市 | 中京区 | 14 |
| 栃木県 | | 鹿沼市 | 17 | 京都府 | 京都市 | 山科区 | 14 |
| 栃木県 | | 小山市 | 17 | 京都府 | | 京田辺市 | 16 |
| 群馬県 | | 前橋市 | 17 | 大阪府 | 大阪市 | 西区 | 17 |
| 群馬県 | | 安中市 | 17 | 大阪府 | 大阪市 | 旭区 | 17 |
| 埼玉県 | さいたま市 | 桜区 | 12 | 大阪府 | 大阪市 | 鶴見区 | 17 |
| 埼玉県 | さいたま市 | 浦和区 | 12 | 大阪府 | 堺市 | 南区 | 16 |
| 埼玉県 | | 川越市 | 17 | 大阪府 | | 岸和田市 | 16 |
| 埼玉県 | | 川口市 | 17 | 大阪府 | | 吹田市 | 16 |
| 埼玉県 | | 深谷市 | 17 | 大阪府 | | 八尾市 | 16 |
| 埼玉県 | | 越谷市 | 17 | 大阪府 | | 河内長野市 | 16 |
| 埼玉県 | | 新座市 | 17 | 大阪府 | | 門真市 | 16 |
| 埼玉県 | | 蓮田市 | 17 | 大阪府 | | 東大阪市 | 16 |
| 埼玉県 | | 幸手市 | 17 | 大阪府 | | 交野市 | 16 |
| 埼玉県 | 比企郡 | 川島町 | 13 | 兵庫県 | 神戸市 | 東灘区 | 15 |
| 千葉県 | 千葉市 | 稲毛区 | 9 | 兵庫県 | 神戸市 | 垂水区 | 15 |

刑罰とりわけ死刑に関する全国意識調査基本報告書— 2014年3月調査（河合 幹雄ほか）

| | | | | | | | |
|------|------|-------|----|------|------|-------|----|
| 千葉県 | 千葉市 | 若葉区 | 9 | 兵庫県 | | 姫路市 | 16 |
| 千葉県 | | 市川市 | 16 | 兵庫県 | | 明石市 | 16 |
| 千葉県 | | 松戸市 | 16 | 兵庫県 | | 伊丹市 | 16 |
| 千葉県 | | 佐倉市 | 16 | 兵庫県 | | 三木市 | 16 |
| 千葉県 | | 柏市 | 16 | 兵庫県 | 神崎郡 | 神河町 | 12 |
| 千葉県 | | 鴨川市 | 16 | 奈良県 | | 奈良市 | 16 |
| 千葉県 | | 匝瑳市 | 16 | 奈良県 | | 御所市 | 16 |
| 千葉県 | 長生郡 | 長柄町 | 13 | 和歌山県 | | 有田市 | 16 |
| 東京都 | | 江東区 | 16 | 和歌山県 | 日高郡 | みなべ町 | 12 |
| 東京都 | | 目黒区 | 16 | 島根県 | | 出雲市 | 17 |
| 東京都 | | 大田区 | 16 | 岡山県 | 岡山市 | 北区 | 13 |
| 東京都 | | 世田谷区 | 16 | 岡山県 | | 玉野市 | 17 |
| 東京都 | | 杉並区 | 16 | 岡山県 | 苫田郡 | 鏡野町 | 12 |
| 東京都 | | 北区 | 16 | 広島県 | 広島市 | 中区 | 12 |
| 東京都 | | 板橋区 | 16 | 広島県 | 広島市 | 安佐南区 | 11 |
| 東京都 | | 練馬区 | 16 | 広島県 | | 東広島市 | 17 |
| 東京都 | | 足立区 | 16 | 広島県 | | 廿日市市 | 17 |
| 東京都 | | 葛飾区 | 16 | 山口県 | | 山口市 | 16 |
| 東京都 | | 江戸川区 | 16 | 山口県 | | 周南市 | 16 |
| 東京都 | | 八王子市 | 16 | 徳島県 | | 徳島市 | 17 |
| 東京都 | | 府中市 | 16 | 香川県 | | 丸亀市 | 17 |
| 東京都 | | 町田市 | 16 | 香川県 | 仲多度郡 | 琴平町 | 13 |
| 東京都 | | 武蔵村山市 | 16 | 愛媛県 | | 松山市 | 16 |
| 東京都 | | あきる野市 | 16 | 高知県 | | 高知市 | 16 |
| 神奈川県 | 横浜市 | 神奈川区 | 15 | 福岡県 | 北九州市 | 小倉北区 | 10 |
| 神奈川県 | 横浜市 | 港北区 | 14 | 福岡県 | 北九州市 | 八幡西区 | 9 |
| 神奈川県 | 横浜市 | 戸塚区 | 15 | 福岡県 | 福岡市 | 博多区 | 14 |
| 神奈川県 | 横浜市 | 旭区 | 14 | 福岡県 | 福岡市 | 西区 | 14 |
| 神奈川県 | 横浜市 | 青葉区 | 14 | 福岡県 | | 柳川市 | 17 |
| 神奈川県 | 川崎市 | 中原区 | 14 | 福岡県 | | 太宰府市 | 17 |
| 神奈川県 | 川崎市 | 宮前区 | 14 | 福岡県 | 糟屋郡 | 粕屋町 | 14 |
| 神奈川県 | 相模原市 | 南区 | 14 | 佐賀県 | | 唐津市 | 17 |
| 神奈川県 | | 平塚市 | 16 | 佐賀県 | 藤津郡 | 太良町 | 14 |
| 神奈川県 | | 小田原市 | 16 | 長崎県 | | 長崎市 | 17 |
| 神奈川県 | | 大和市 | 16 | 熊本県 | 熊本市 | 東区 | 14 |
| 新潟県 | 新潟市 | 東区 | 16 | 熊本県 | | 八代市 | 17 |
| 新潟県 | | 燕市 | 16 | 大分県 | | 大分市 | 17 |
| 新潟県 | | 阿賀野市 | 16 | 大分県 | | 豊後大野市 | 17 |
| 新潟県 | 北蒲原郡 | 聖籠町 | 13 | 宮崎県 | | 日南市 | 16 |
| 富山県 | | 富山市 | 14 | 宮崎県 | 北諸県郡 | 三股町 | 13 |
| 富山県 | | 砺波市 | 13 | 鹿児島県 | | 鹿児島市 | 16 |

| | | | | | | | |
|-----|--|-----|----|-----|--|------|----|
| 石川県 | | 金沢市 | 13 | 沖縄県 | | 那覇市 | 16 |
| 福井県 | | 福井市 | 13 | 沖縄県 | | うるま市 | 16 |

調査実施

2014 年 3 月 26 日に郵送し、二週間かけて回収終了した。実は、調査票が届く翌日 27 日、静岡地裁により袴田死刑囚の再審開始決定がなされ、27 日夕方は袴田さんが釈放された。そのことは、夜のニュースで報道された。翌日から新聞各紙に関連記事が連日報道され、テレビニュースでもたびたび報道された。その影響はかなりの程度出ていると予測する必要がある。

回収率

回収率は、2500 サンプル中 1461 と 58.4%と 6 割近く確保できた。

第二章 サンプルの特徴

サンプルの特徴を、日本全体に対する統計データ等と比較しつつ概観する。

1 ジェンダー

全体 1461 ケースのうち、男性が 709 人で 48.5%、女性が 752 人で 51.5%である。全国統計での男女比率とはば一致しており、差は 0.4 ポイントで、本調査ではわずかながら男性の回答者が多い。

F 1 あなたの性別はどちらですか。（〇は 1 つ）

| | 度数 | 有効% | 累積% | 2012 年 全国統計 (%) *1 |
|-------|------|-------|-------|--------------------|
| 有効 男性 | 709 | 48.5 | 48.5 | 48.1 |
| 女性 | 752 | 51.5 | 100.0 | 51.9 |
| 合計 | 1461 | 100.0 | | 100.0 |

*1 『日本の統計 2014』総務庁統計局編 表(2-4 年齢各歳別人口)

2 年齢

本調査では、生年を尋ねてその回答から年齢と年代を算出している。ここでは、年齢階級ごとにまとめたものを示す。全国統計での比率と照らし合わせると、本調査の結果は概ね全国の人口構成と一致している。ただし、20 代に関しては、本調査では 6.8%となっており、全国統計の比率から 5.7 ポイント下回っていることに注意が必要である。

年代

| | 度数 | 有効% | 累積% | 2013 年 全国統計 (%) *1 |
|---------|-----|-----|-----|--------------------|
| 有効 20 代 | 100 | 6.8 | 6.8 | 12.5 |

刑罰とりわけ死刑に関する全国意識調査基本報告書―2014年3月調査（河合 幹雄ほか）

| | | | | |
|-------|------|-------|-------|-------|
| 30代 | 189 | 12.9 | 19.8 | 15.9 |
| 40代 | 253 | 17.3 | 37.1 | 17.2 |
| 50代 | 241 | 16.5 | 53.6 | 14.7 |
| 60代 | 323 | 22.1 | 75.7 | 17.5 |
| 70代 | 256 | 17.5 | 93.2 | 13.3 |
| 80代以上 | 99 | 6.8 | 100.0 | 8.9 |
| 合計 | 1461 | 100.0 | | 100.0 |

*1 『日本統計年鑑 2017』総務庁統計局 表(2-8 年齢階級別人口及び年齢構成指数)

3 階層意識

階層意識については、5段階の区分で尋ねた。本調査と同じ質問をしている内閣府『国民生活に関する世論調査』と比較してみると、本調査では「上」「中の上」の比率が低く、「中の中」「中の下」「下」の比率が高い。

F3 仮に現在の日本社会全体を、以下の5つの層にわけるとすれば、あなたはどれに入と思いますか。（〇は1つ）

| | 度数 | 有効% | 累積% | 2014年6月、内閣府『国民生活に関する世論調査』(%) |
|-------|------|-------|-------|------------------------------|
| 有効 上層 | 10 | .7 | .7 | 1.2 |
| 中の上層 | 115 | 7.9 | 8.6 | 12.4 |
| 中の中層 | 558 | 38.5 | 47.2 | 56.6 |
| 中の下層 | 458 | 31.6 | 78.8 | 24.1 |
| 下層 | 162 | 11.2 | 90.0 | 4.6 |
| わからない | 145 | 10.0 | 100.0 | 1.1 |
| 合計 | 1448 | 100.0 | | 100.0 |
| 欠損値 | 9 | 13 | | |
| 合計 | 1461 | | | |

4 学歴

最終学歴については、全国統計の比率とほぼ一致している。最も差が生じているのは小学校・中学校卒業の場合で、本調査での比率は全国統計より4.4ポイント低い。また、高等学校卒業の場合は、2.4ポイント低い。逆に、短期大学・高等専門学校卒業の場合は、1.6ポイント高く、大学・大学院卒業の場合は、3.9ポイント高い。したがって、本調査では学歴が高くなればなるほど回収率が高くなっている。

F4 あなたが最後に卒業された学校は、次のどれにあたりますか。（〇は1つ）

| | 度数 | 有効% | 累積% | 2010年 全国統計(%)※1 |
|--|----|-----|-----|-----------------|
|--|----|-----|-----|-----------------|

| | | | | | |
|-----|-----------------------------|------|-------|-------|------|
| 有効 | 小学校・中学校（旧制小学校を含む） | 206 | 14.3 | 14.3 | 18.7 |
| | 高等学校（旧制中学校・師範学校・高等女学校を含む） | 633 | 43.8 | 58.1 | 46.2 |
| | 短期大学・高等専門学校（旧制高校・高等師範学校を含む） | 238 | 16.5 | 74.5 | 14.9 |
| | 大学・大学院（旧制大学を含む） | 345 | 23.9 | 98.4 | 20.0 |
| | その他 | 23 | 1.6 | 100.0 | — |
| | 合計 | 1445 | 100.0 | | |
| 欠損値 | 9 | 16 | | | |
| 合計 | | 1461 | | | |

5 就業形態

本調査と完全に対応している統計ではないが、類似度の高い 2005 年版 SSM 調査、すなわち「社会階層と社会移動」全国調査（The national survey of Social Stratification and social Mobility）を比較の対象とした。興味深いことに、双方の比率がおおよそ類似している。

Ｆ５ あなたの現在のお仕事は以下のどれにあたりますか。（○は１つ）

| | | 度数 | 有効% | 累積% | 2005 年「社会階層と社会移動」 全国調査（%） |
|-----|----------------|------|-------|-------|------------------------------|
| 有効 | 経営者・役員 | 71 | 4.9 | 4.9 | 4.3 |
| | 常時雇用の一般従業員 | 403 | 27.8 | 32.7 | 35.0 |
| | 臨時雇用・パート・アルバイト | 210 | 14.5 | 47.2 | 15.3 |
| | 派遣社員 | 16 | 1.1 | 48.3 | 1.5 |
| | 自営業主・自由業者 | 119 | 8.2 | 56.5 | 8.2 |
| | 家族従業者 | 39 | 2.7 | 59.2 | 4.9 |
| | 内職 | 4 | .3 | 59.5 | .7 |
| | 学生 | 21 | 1.4 | 60.9 | 1.7 |
| | 専業主婦・主夫 | 232 | 16.0 | 76.9 | — |
| | 無職 | 283 | 19.5 | 96.5 | 26.2 |
| | その他（ ） | 51 | 3.5 | 100.0 | — |
| | 合計 | 1449 | 100.0 | | 100.0 |
| 欠損値 | 99 | 12 | | | |
| 合計 | | 1461 | | | |

6 自治会や町内会の活動

完全に対応する統計はないので、内閣府が 2007 年に実施した『国民生活選好度調査』（全国の 15 歳以上 80

刑罰とりわけ死刑に関する全国意識調査基本報告書―2014年3月調査（河合 幹雄ほか）

歳未満の男女3,345人から回答を得ている）を参照すると、町内会・自治会活動への参加頻度について「参加していない」を選んだ回答者は51.5%にのぼる。また、「年に数回程度」は35.8%、「月に1日程度」が9.2%、最も熱心に参加している「週に1日程度以上」が3.4%となっている。本調査では最も熱心に参加している層が3.2%になり内閣府の調査結果とほぼ一致する割合になっている。しかし、「参加していない」の回答に関しては、本調査が21.3%で内閣府の調査が51.5%となり、大きな違いがある。

F 6 あなたは日頃、自治会や町内会などの活動を行っていますか。もっともあてはまるもの1つに○をつけてください。（○は1つ）

| | | 度数 | 有効% | 累積% |
|-----|------------|------|-------|-------|
| 有効 | 熱心に参加している | 47 | 3.2 | 3.2 |
| | どちらともいえない | 508 | 35.0 | 38.2 |
| | あまり参加していない | 173 | 11.9 | 50.1 |
| | 参加していない | 310 | 21.3 | 71.5 |
| | 5 | 414 | 28.5 | 100.0 |
| | 合計 | 1452 | 100.0 | |
| 欠損値 | 9 | 9 | | |
| 合計 | | 1461 | | |

7 選挙の投票

「ほぼ必ず行く」と回答しているのは69.6%になっている。なお、総務省「国政選挙の投票率の推移について」（http://www.soumu.go.jp/senkyo/senkyo_s/news/sonota/ritu/index.html、平成27年3月20日閲覧）によれば、平成26年12月に行われた第47回衆議院議員総選挙の投票率は52.66%であった。また、平成25年7月に行われた第23回参議院議員通常選挙投票率は52.61%であった。実際の行動はともかく回答だけ見ると、本調査のサンプルには投票を欠かさない意識の高い有権者がより多く含まれていることになる。

F 7 あなたは選挙（国や都道府県、市町村など）の投票に行っていますか。（○は1つ）

| | | 度数 | 有効% | 累積% |
|-----|---------------|------|-------|-------|
| 有効 | ほぼ必ず行く | 1012 | 69.6 | 69.6 |
| | 時々行く | 129 | 8.9 | 78.5 |
| | 行ったり行かなかったりする | 184 | 12.7 | 91.2 |
| | どちらかといえば行かない | 53 | 3.6 | 94.8 |
| | めったに行かない | 75 | 5.2 | 100.0 |
| | 合計 | 1453 | 100.0 | |
| 欠損値 | 9 | 8 | | |
| 合計 | | 1461 | | |

8 地域別

回答者の居住地域については、総務省の人口推計と比較すると、ほぼ一致する比率になっている。

地域（十区分）

| | 度数 | 有効% | 累積% | 2012 年 総務省『人口推計』（%） |
|--------|------|-------|-------|---------------------|
| 有効 北海道 | 63 | 4.3 | 4.3 | 4.3 |
| 東北 | 115 | 7.9 | 12.2 | 7.2 |
| 関東 | 465 | 31.8 | 44.0 | 33.4 |
| 甲信越 | 67 | 4.6 | 48.6 | 4.2 |
| 北陸 | 44 | 3.0 | 51.6 | 2.4 |
| 東海 | 171 | 11.7 | 63.3 | 11.8 |
| 近畿 | 210 | 14.4 | 77.7 | 16.3 |
| 中国 | 91 | 6.2 | 83.9 | 5.9 |
| 四国 | 50 | 3.4 | 87.3 | 3.1 |
| 九州 | 185 | 12.7 | 100.0 | 11.4 |
| 合計 | 1461 | 100.0 | | 100.0 |

9 市区町村区分

国勢調査に基づく全国統計と比較すると、「その他の市」の比率が 5.9 ポイント高い。したがって、本調査の回答者には 21 大市以外の市に居住する人々が比率的により多く含まれている。

市区町村区分

| | 度数 | 有効% | 累積% | 2010 年 『国勢調査』（%） |
|----------|------|-------|-------|------------------|
| 有効 21 大市 | 366 | 25.1 | 25.1 | 30.2 |
| その他の市 | 962 | 65.8 | 90.9 | 59.9 |
| 町村 | 133 | 9.1 | 100.0 | 9.9 |
| 合計 | 1461 | 100.0 | | 100.0 |

第三章 主質問の全体的傾向

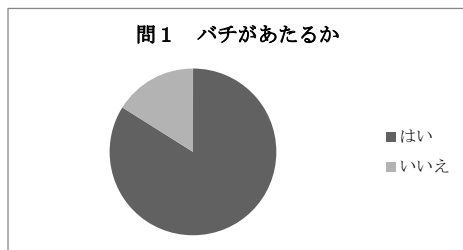
ここでは主質問の基本統計と度数分布を一覧する。

1. 問1

この問1は、因果応報についての意識を調べる目的で設定されたものである。

問1. あなたは、悪いことをしたらバチがあたると思いますか。（○は1つ）

| | | 度数 | 有効% | 累積% |
|-----|-----|------|-------|-------|
| 有効数 | はい | 1223 | 83.9 | 83.9 |
| | いいえ | 234 | 16.1 | 100.0 |
| | 合計 | 1457 | 100.0 | |
| 欠損値 | 9 | 4 | | |
| 合計 | | 1461 | | |



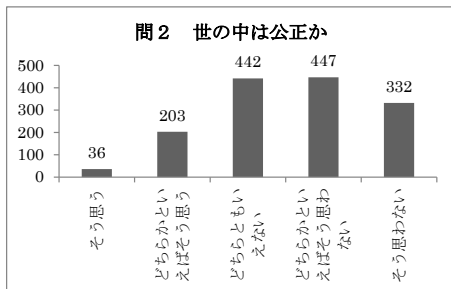
バチがあたると思うと回答したものが、83.7%と圧倒的に多数を占めた。ただし、「どちらでもない」という選択肢を用意しなかったため、「いいえ」と答えにくかったといった消極的な肯定も含まれると考えられる。

2. 問2

この問2は、世の中に対する、人々の公平感について尋ねたものである。

問2. あなたは、世の中は公正にできていると思いますか、そうは思いませんか。（○は1つ）

| | | 度数 | 有効% | 累積% |
|-----|----------------|------|-------|-------|
| 有効数 | そう思う | 36 | 2.5 | 2.5 |
| | どちらかといえばそう思う | 203 | 13.9 | 16.4 |
| | どちらともいえない | 442 | 30.3 | 46.6 |
| | どちらかといえばそう思わない | 447 | 30.6 | 77.3 |
| | そう思わない | 332 | 22.7 | 100.0 |
| | 合計 | 1460 | 100.0 | |
| 欠損値 | 9 | 1 | | |
| 合計 | | 1461 | | |



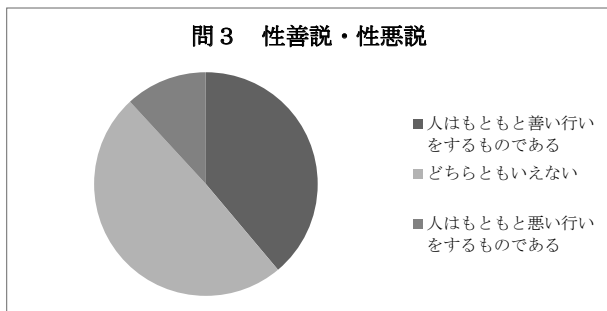
世の中が公正かという質問に対して、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合計しても 16.4%しかいない。否定的意見「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」の合計は過半数を超えている。「どちらともいえない」は3割である。

3. 問3

この問3は、性善説と性悪説のどちらを取る人が多いか尋ねたものである。

問3. 次の意見のうち、あなたはどちらにより共感しますか。（○は1つ）

| | | 度数 | 有効% | 累積% |
|-----|--------------------|------|-------|-------|
| 有効数 | 人はもともと善い行いをするものである | 567 | 38.9 | 38.9 |
| | 人はもともと悪い行いをするものである | 173 | 11.9 | 50.7 |
| | どちらともいえない | 719 | 49.3 | 100.0 |
| | 合計 | 1459 | 100.0 | |
| 欠損値 | 9 | 2 | | |
| 合計 | | 1461 | | |



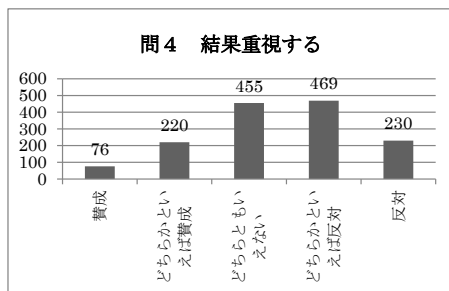
性善説のひとが 38.9%で、性悪説のひと 11.9%を圧倒している。ただし、「どちらともいえない」がほぼ半数を占めている。

4. 問4

この問4は、物事に取り組む姿勢よりも結果を重視する考え方への賛否を尋ねたものである。

問4. あなたは「人を評価するには、意図や努力、その他の事情にかかわらず、結果を重視すべきだ」という意見に賛成ですか、反対ですか。（○は1つ）

| | | 度数 | 有効% | 累積% |
|-----|------------|------|-------|-------|
| 有効数 | 賛成 | 76 | 5.2 | 5.2 |
| | どちらかといえば賛成 | 220 | 15.2 | 20.4 |
| | どちらともいえない | 455 | 31.4 | 51.8 |
| | どちらかといえば反対 | 469 | 32.3 | 84.1 |
| | 反対 | 230 | 15.9 | 100.0 |
| | 合計 | 1450 | 100.0 | |
| 欠損値 | 9 | 11 | | |
| 合計 | | 1461 | | |



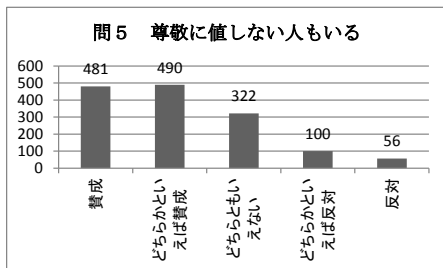
結果重視の考え方に賛成する者は、「どちらかといえば賛成」を加えても、20.4%と五分の一しかいない。反対は、「どちらかといえば反対」「反対」の合計が、48.2%とほとんど半数に達している。

5. 問5

この問5は、社会に対するイメージのひとつとして、尊敬に値する人たちとそうでない人たちがいると考える意見に対して賛成か尋ねたものである。

問5. あなたは、「社会には、尊敬に値する人たちとそうでない人たちがいる」という意見に賛成ですか、反対ですか。（○は1つ）

| | | 度数 | 有効% | 累積% |
|-----|------------|------|-------|-------|
| 有効数 | 賛成 | 481 | 33.2 | 33.2 |
| | どちらかといえば賛成 | 490 | 33.8 | 67.0 |
| | どちらともいえない | 322 | 22.2 | 89.2 |
| | どちらかといえば反対 | 100 | 6.9 | 96.1 |
| | 反対 | 56 | 3.9 | 100.0 |
| | 合計 | 1449 | 100.0 | |
| 欠損値 | 9 | 12 | | |
| 合計 | | 1461 | | |



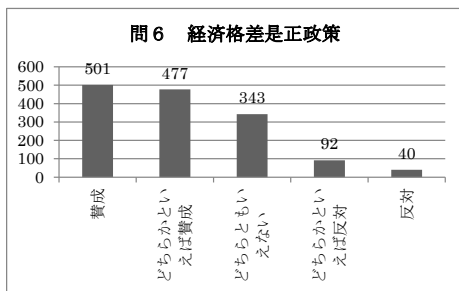
明確に「賛成」なものが 33.2%と、ほぼ三分の一に達し、「どちらかといえば賛成」を加えると、賛成派が 67%と、三分の二に達している。反対は、「どちらかといえば反対」を加えても 10.8%しかない。

6. 問 6

この問 6 は経済格差の是正政策取るべきかについて尋ねたものである。

問6. 政府は、裕福な家庭と貧しい家庭の収入の差を縮めるために、対策をとるべきだ」という意見に、あなたは賛成ですか、反対ですか。（○は1つ）

| | | 度数 | 有効% | 累積% |
|-----|------------|------|-------|-------|
| 有効数 | 賛成 | 501 | 34.5 | 34.5 |
| | どちらかといえば賛成 | 477 | 32.8 | 67.3 |
| | どちらともいえない | 343 | 23.6 | 90.9 |
| | どちらかといえば反対 | 92 | 6.3 | 97.2 |
| | 反対 | 40 | 2.8 | 100.0 |
| | 合計 | 1453 | 100.0 | |
| 欠損値 | 9 | 8 | | |
| 合計 | | 1461 | | |



「賛成」が 34.5%と最大回答数となった。「どちらかといえば賛成」を加えると三分の二を超え、「反対」「どちらかといえば反対」合計は、9.1%しかない。

| | | | | |
|-----|----------|------|-------|-------|
| | その通りだと思う | 520 | 36.3 | 100.0 |
| | 合計 | 1434 | 100.0 | |
| 欠損値 | 9 | 27 | | |
| 合計 | | 1461 | | |

問7. あなたは現在の日本の社会で高い社会的地位や経済的豊かさを得ているのは、どのような人たちだと思いますか。(c) 運のいい人

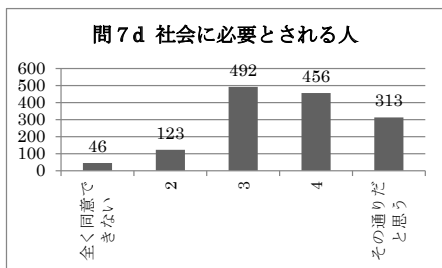
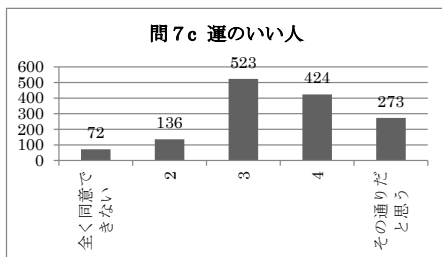
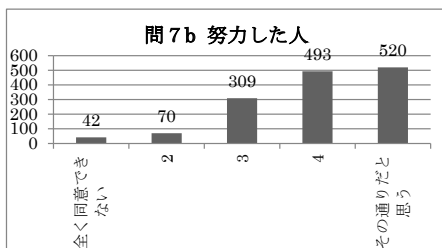
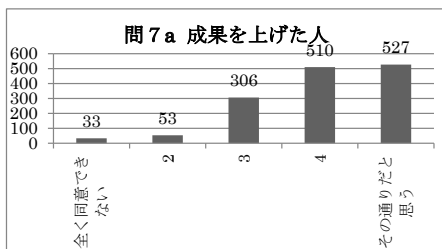
| | | 度数 | 有効% | 累積% |
|-----|----------|------|-------|-------|
| 有効数 | 全く同意できない | 72 | 5.0 | 5.0 |
| | 2 | 136 | 9.5 | 14.6 |
| | 3 | 523 | 36.6 | 51.2 |
| | 4 | 424 | 29.7 | 80.9 |
| | その通りだと思う | 273 | 19.1 | 100.0 |
| | 合計 | 1428 | 100.0 | |
| 欠損値 | 9 | 33 | | |
| 合計 | | 1461 | | |

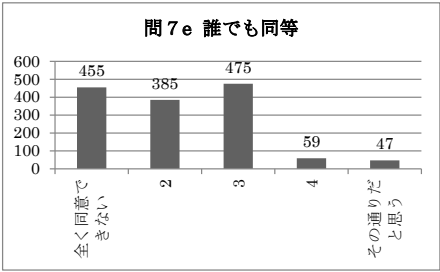
問7. あなたは現在の日本の社会で高い社会的地位や経済的豊かさを得ているのは、どのような人たちだと思いますか。(d) 社会から必要とされている人

| | | 度数 | 有効% | 累積% |
|-----|----------|------|-------|-------|
| 有効数 | 全く同意できない | 46 | 3.2 | 3.2 |
| | 2 | 123 | 8.6 | 11.8 |
| | 3 | 492 | 34.4 | 46.2 |
| | 4 | 456 | 31.9 | 78.1 |
| | その通りだと思う | 313 | 21.9 | 100.0 |
| | 合計 | 1430 | 100.0 | |
| 欠損値 | 9 | 31 | | |
| 合計 | | 1461 | | |

問7. あなたは現在の日本の社会で高い社会的地位や経済的豊かさを得ているのは、どのような人たちだと思いますか。(e) 誰もが同じくらい得ている

| | | 度数 | 有効% | 累積% |
|-----|----------|------|-------|-------|
| 有効数 | 全く同意できない | 455 | 32.0 | 32.0 |
| | 2 | 385 | 27.1 | 59.1 |
| | 3 | 475 | 33.4 | 92.5 |
| | 4 | 59 | 4.2 | 96.7 |
| | その通りだと思う | 47 | 3.3 | 100.0 |
| | 合計 | 1421 | 100.0 | |
| 欠損値 | 9 | 40 | | |
| 合計 | | 1461 | | |





「成果を上げた人」と「努力した人」は類似したパターンとなった。「その通りだと思う」が最大、それに準ずるひとがそれに続いて、両者合わせると 7 割を超える支持である。「全く同意できない」とそれに準ずる反対意見は、合計しても 1 割にも届かない。

「運のいい人」「社会から必要とされる人」も相互に類似したパターンとなった。どちらでもないという回答者が最多数で、「賛成より」の人が続いて、「その通り」という人がある。賛成派は合計、約半数である。

「誰でも同等」は、どちらでもない意見が最多だが、「全く同意できない」もそれに匹敵する多数を集め、三分の一近い。反対派が、合計で 6 割近く、賛成派は合計で 1 割に満たない。

8. 問 8

この問 8 は、貧困者のイメージについて尋ねたものである。

| 貧困状態にあるのは | 全く同意できない ← → その通りだと思う | | | | |
|------------------------|-----------------------|---|---|---|---|
| | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| (a) 成果を上げられなかった人・・・ → | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| (b) 努力しなかった人・・・・・・・・ → | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| (c) 運の悪い人・・・・・・・・・・ → | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| (d) 社会から必要とされていない人・・ → | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |

問8. あなたは現在の日本の社会で貧困状態にある人は、どのような人たちだと思いますか。

(a) 成果を上げられなかった人

| | | 度数 | 有効% | 累積% |
|-----|----------|-----|------|------|
| 有効数 | 全く同意できない | 105 | 7.4 | 7.4 |
| | 2 | 218 | 15.3 | 22.7 |
| | 3 | 568 | 39.9 | 62.6 |
| | 4 | 341 | 24.0 | 86.6 |

刑罰とりわけ死刑に関する全国意識調査基本報告書— 2014年3月調査（河合 幹雄ほか）

| | | | | |
|-----|----------|------|-------|-------|
| | その通りだと思う | 191 | 13.4 | 100.0 |
| | 合計 | 1423 | 100.0 | |
| 欠損値 | 9 | 38 | | |
| 合計 | | 1461 | | |

問8. あなたは現在の日本の社会で貧困状態にある人は、どのような人たちだと思いますか。

(b) 努力しなかった人

| | | 度数 | 有効% | 累積% |
|-----|----------|------|-------|-------|
| 有効数 | 全く同意できない | 99 | 6.9 | 6.9 |
| | 2 | 188 | 13.1 | 20.0 |
| | 3 | 444 | 30.9 | 50.9 |
| | 4 | 356 | 24.8 | 75.7 |
| | その通りだと思う | 348 | 24.3 | 100.0 |
| | 合計 | 1435 | 100.0 | |
| 欠損値 | 9 | 26 | | |
| 合計 | | 1461 | | |

問8. あなたは現在の日本の社会で貧困状態にある人は、どのような人たちだと思いますか。

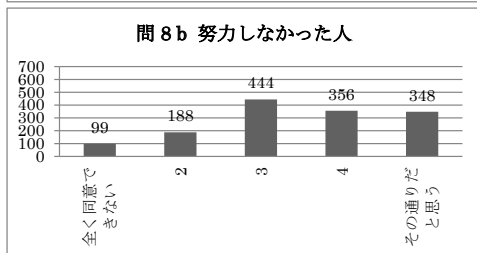
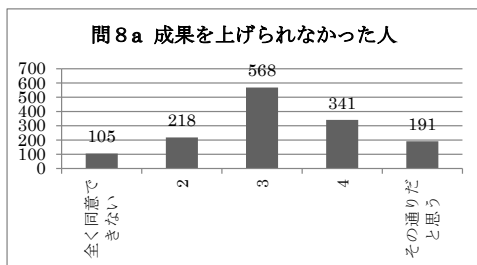
(c) 運の悪い人

| | | 度数 | 有効% | 累積% |
|-----|----------|------|-------|-------|
| 有効数 | 全く同意できない | 129 | 9.0 | 9.0 |
| | 2 | 185 | 12.9 | 22.0 |
| | 3 | 622 | 43.5 | 65.5 |
| | 4 | 304 | 21.3 | 86.8 |
| | その通りだと思う | 189 | 13.2 | 100.0 |
| | 合計 | 1429 | 100.0 | |
| 欠損値 | 9 | 32 | | |
| 合計 | | 1461 | | |

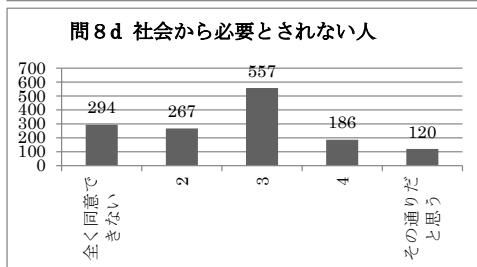
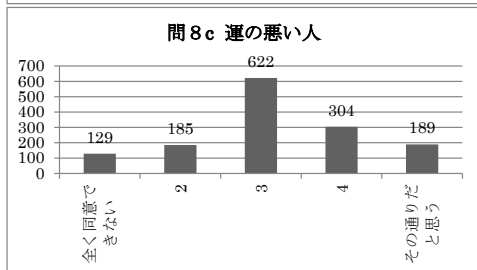
問8. あなたは現在の日本の社会で貧困状態にある人は、どのような人たちだと思いますか。

(d) 社会から必要とされていない人

| | | 度数 | 有効% | 累積% |
|-----|----------|------|-------|-------|
| 有効数 | 全く同意できない | 294 | 20.6 | 20.6 |
| | 2 | 267 | 18.8 | 39.4 |
| | 3 | 557 | 39.1 | 78.5 |
| | 4 | 186 | 13.1 | 91.6 |
| | その通りだと思う | 120 | 8.4 | 100.0 |
| | 合計 | 1424 | 100.0 | |
| 欠損値 | 9 | 37 | | |
| 合計 | | 1461 | | |



S



「その通りだと思う」の回答が最大であったのは「努力しなかった人」24.3%、「成果を上げられなかった人」「運が悪かった人」は13%程度であるから、突出している。「努力しなかった人」は、「その通りだと思う」に準ずる人も入れると半数に達する。

「全く同意できない」の回答が最大であったのは、「社会に必要とされる人」で 20.6%で他を大きく引きなす。

なお、すべての回答で、どちらでもない回答が、三割から四割に達しており、割り切れない回答者が多かったことに留意すべきである。

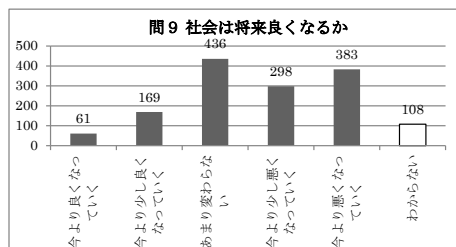
9. 問9

この問9は、日本社会の将来に対する楽観度を尋ねたものである。

問9. 日本の社会は、将来、今より良くなっていくと思いますか、悪くなっていくと思いますか。

（○は1つ）

| | | 度数 | 有効% | 累積% |
|-----|--------------|------|-------|-------|
| 有効数 | 今より良くなっていく | 61 | 4.2 | 4.2 |
| | 今より少し良くなっていく | 169 | 11.6 | 15.8 |
| | あまり変わらない | 436 | 30.0 | 45.8 |
| | 今より少し悪くなっていく | 298 | 20.5 | 66.3 |
| | 今より悪くなっていく | 383 | 26.3 | 92.6 |
| | わからない | 108 | 7.4 | 100.0 |
| | 合計 | 1455 | 100.0 | |
| 欠損値 | 9 | 6 | | |
| 合計 | | 1461 | | |



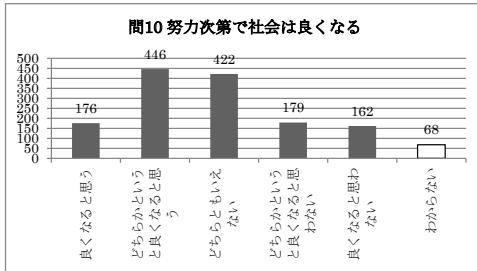
「あまり変わらない」が最大多数で、調度三割だったが、「今より悪くなっていく」が26.2%もいる。「今より良くなっていく」「少し良くなっていく」を合わせても15.8%しかない。

10. 問10

この問10は、自力で社会が変えられると思うかを尋ねたものである。

問10. あなたは、自分たちの努力次第で今後社会が良くなると思いますか。（○は1つ）

| | | 度数 | 有効% | 累積% |
|-----|-------------------|------|-------|-------|
| 有効数 | 良くなると思う | 176 | 12.1 | 12.1 |
| | どちらかというと良くなると思う | 446 | 30.7 | 42.8 |
| | どちらともいえない | 422 | 29.0 | 71.9 |
| | どちらかというと良くなると思わない | 179 | 12.3 | 84.2 |
| | 良くなると思わない | 162 | 11.1 | 95.3 |
| | わからない | 68 | 4.7 | 100.0 |
| | 合計 | 1453 | 100.0 | |
| 欠損値 | 9 | 8 | | |
| 合計 | | 1461 | | |



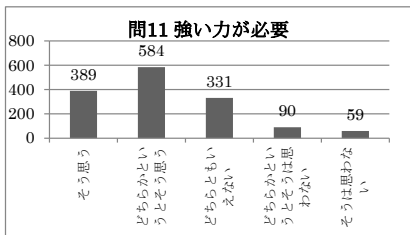
「どちらかといえば良くなる」が最大で、三割を超えている。しかし、「良くなる」と明確に答えるものは 12.1%しかいない。「良くなるとは思わない」意見も一定数存在する。

11. 問 11

この問 11 は、強い力に頼りたいかについて尋ねたものである。

問 11. 日本の良さを守るには何らかの強い力が必要だと思いますか。(○は1つ)

| | | 度数 | 有効% | 累積% |
|-----|-----------------|------|-------|-------|
| 有効数 | そう思う | 389 | 26.8 | 26.8 |
| | どちらかというとうとそう思う | 584 | 40.2 | 67.0 |
| | どちらともいえない | 331 | 22.8 | 89.7 |
| | どちらかというとうとは思わない | 90 | 6.2 | 95.9 |
| | そうは思わない | 59 | 4.1 | 100.0 |
| 合計 | | 1453 | 100.0 | |
| 欠損値 | 9 | 8 | | |
| 合計 | | 1461 | | |



「どちらかといえばそう思う」が最大多数で四割を占める。「そう思う」も合わせると三分の二に達する。否定意見は合計で 1 割しかいない。

12. 問 12

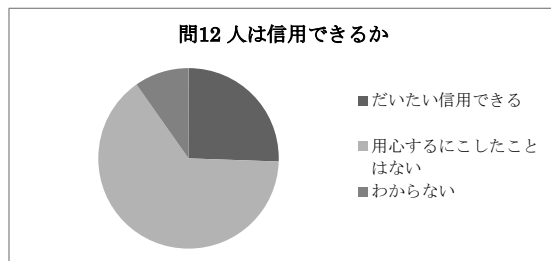
この問 12 は、人を信用できると考えているか尋ねたものである。

問 12. 一般的に言って、人はだいたいにおいて信用できると思いますか。それとも人と付き合うには用心するにこしたことはないと思いますか。(○は1つ)

| | 度数 | 有効% | 累積% |
|--|----|-----|-----|
|--|----|-----|-----|

刑罰とりわけ死刑に関する全国意識調査基本報告書―2014年3月調査（河合 幹雄ほか）

| | | | | |
|-----|---------------|------|-------|-------|
| 有効数 | だいたい信用できる | 372 | 25.6 | 25.6 |
| | 用心するにこしたことはない | 941 | 64.7 | 90.2 |
| | わからない | 142 | 9.8 | 100.0 |
| | 合計 | 1455 | 100.0 | |
| 欠損値 | 9 | 6 | | |
| 合計 | | 1461 | | |



「だいたい信用できる」が四分の一、「用心するにこしたことはない」が64.7%、「わからない」が1割であった。

13. 問 13

この問13は、政府、警察、裁判所の信頼度について尋ねたものである。

| | 信頼できると 思う | どちらか という 信頼 できると 思う | どちらとも いえない | どちらか という 信頼 できない | 信頼 できない |
|--------------------|--------------|---------------------------------|---------------|---------------------------|------------|
| (a) 政府・・・・・・・・・・→ | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| (b) 警察・・・・・・・・・・→ | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| (c) 裁判所・・・・・・・・・・→ | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |

問 13. 次における(a)～(c)について、あなたはどれくらい信頼していますか。(○はそれぞれ1 つずつ)

(a)政府

| | | 度数 | 有効% | 累積% |
|-----|-----------------|-----|------|------|
| 有効数 | 信頼できると思う | 31 | 2.1 | 2.1 |
| | どちらかという信頼できると思う | 252 | 17.4 | 19.5 |
| | どちらともいえない | 496 | 34.2 | 53.7 |

| | | | |
|----------------|------|-------|-------|
| どちらかというと信頼できない | 413 | 28.4 | 82.1 |
| 信頼できない | 260 | 17.9 | 100.0 |
| 合計 | 1452 | 100.0 | |
| 欠損値 | 9 | 9 | |
| 合計 | 1461 | | |

問 13. 次にあげる(a)～(c)について、あなたはどれくらい信頼していますか。(○はそれぞれ1つずつ)

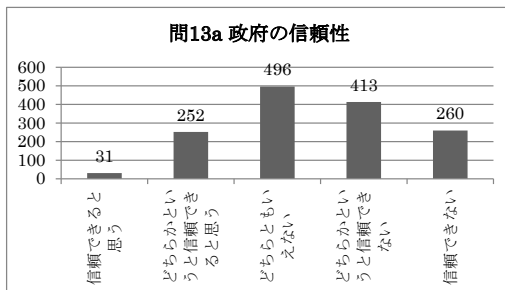
(b)警察

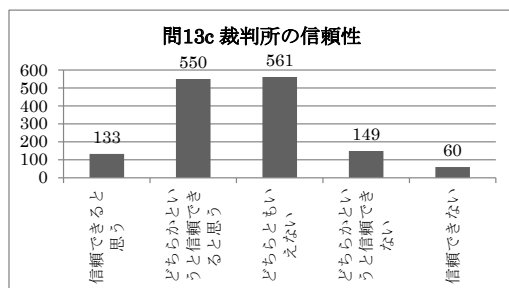
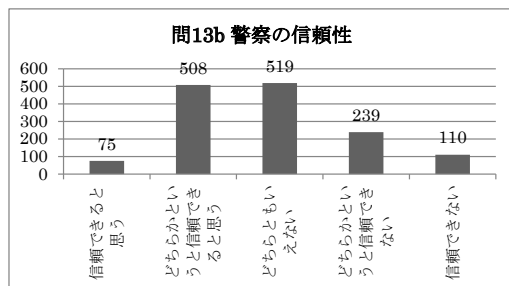
| | | 度数 | 有効% | 累積% |
|-----|------------------|------|-------|-------|
| 有効数 | 信頼できると思う | 75 | 5.2 | 5.2 |
| | どちらかというと信頼できると思う | 508 | 35.0 | 40.2 |
| | どちらともいえない | 519 | 35.8 | 75.9 |
| | どちらかというと信頼できない | 239 | 16.5 | 92.4 |
| | 信頼できない | 110 | 7.6 | 100.0 |
| | 合計 | 1451 | 100.0 | |
| 欠損値 | 9 | 10 | | |
| 合計 | | 1461 | | |

問 13. 次にあげる(a)～(c)について、あなたはどれくらい信頼していますか。(○はそれぞれ1つずつ)

(c)裁判所

| | | 度数 | 有効% | 累積% |
|-----|------------------|------|-------|-------|
| 有効数 | 信頼できると思う | 133 | 9.2 | 9.2 |
| | どちらかというと信頼できると思う | 550 | 37.9 | 47.0 |
| | どちらともいえない | 561 | 38.6 | 85.6 |
| | どちらかというと信頼できない | 149 | 10.3 | 95.9 |
| | 信頼できない | 60 | 4.1 | 100.0 |
| | 合計 | 1453 | 100.0 | |
| 欠損値 | 9 | 8 | | |
| 合計 | | 1461 | | |





「信頼できない」が最大は、政府で 17.9%もある。次が警察で 7.6%、裁判所は 4.1%である。「信頼できる」は、いずれも 1 割に満たない。警察と裁判所は「どちらかといえば信頼できる」が 4 割弱である。政府は信頼しない人のほうが過半数という状況である。

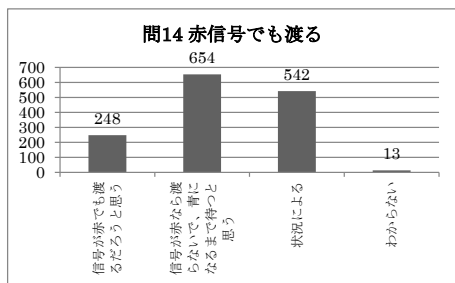
14. 問 14

この問 14 は、赤信号を無視することがあるかについて尋ねたものである。

問 14. 車が渡る気配がほとんどないことが明らかだったとしたら、あなたは信号が赤でもわたりますか。

それとも青になるまで待ちますか。(○は1つ)

| | | 度数 | 有効% | 累積% |
|-----|-------------------------|------|-------|-------|
| 有効数 | 信号が赤でも渡るだろうと思う | 248 | 17.0 | 17.0 |
| | 信号が赤なら渡らないで、青になるまで待つと思う | 654 | 44.9 | 61.9 |
| | 状況による | 542 | 37.2 | 99.1 |
| | わからない | 13 | .9 | 100.0 |
| | 合計 | 1457 | 100.0 | |
| 欠損値 | 9 | 4 | | |
| 合計 | | 1461 | | |



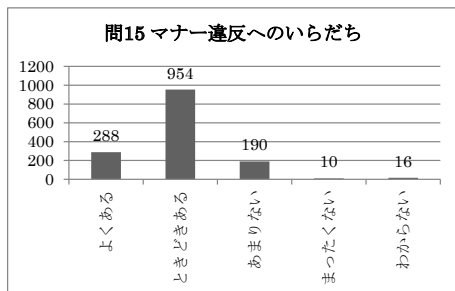
「赤信号でも渡る」は 17%、「渡らない」44.9%であった。意識調査では、いわゆる「良い子の答え」がなされるので注意が必要である。

15. 問 15

この問 15 は、マナー違反にいらだつことがあるか尋ねたものである。

問 15. あなたは、公共の場所でのマナー違反にいらだつことが、どの程度ありますか。（○は1つ）

| | | 度数 | 有効% | 累積% |
|-----|--------|------|-------|-------|
| 有効数 | よくある | 288 | 19.8 | 19.8 |
| | ときどきある | 954 | 65.4 | 85.2 |
| | あまりない | 190 | 13.0 | 98.2 |
| | まったくない | 10 | .7 | 98.9 |
| | わからない | 16 | 1.1 | 100.0 |
| | 合計 | 1458 | 100.0 | |
| 欠損値 | 9 | 3 | | |
| 合計 | | 1461 | | |



「ときどきある」が 65.4%と圧倒的である。「よくある」と合計すると 85%を超えている。「わからない」が、ほとんどいないことも注目に値する。

16. 問 16

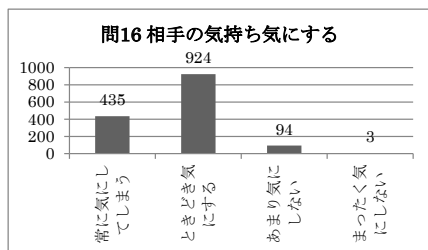
この問 16 は、他者を気にする態度について尋ねたものである。

問 16. あなたは相手の気持ちを傷つけていないか気にすることがどの程度ありますか。（○は1つ）

- 1 常に気にしてしまう 3 あまり気にしない
2 とどきき気にする 4 まったく気にしない

問 16. あなたは相手の気持ちを傷つけていないか気にすることがどの程度ありますか。（○は1つ）

| | | 度数 | 有効% | 累積% |
|-----|-----------|------|-------|-------|
| 有効数 | 常に気にしてしまう | 435 | 29.9 | 29.9 |
| | とどきき気にする | 924 | 63.5 | 93.3 |
| | あまり気にしない | 94 | 6.5 | 99.8 |
| | まったく気にしない | 3 | .2 | 100.0 |
| | 合計 | 1456 | 100.0 | |
| 欠損値 | 9 | 5 | | |
| 合計 | | 1461 | | |



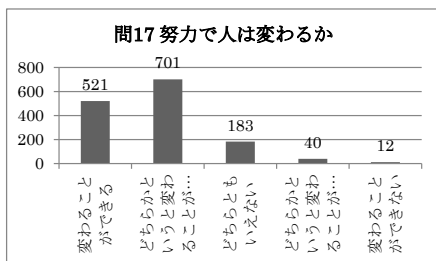
「とどきき気にする」が63.5%と圧倒的である。「常に」を合わせると「気にする」が93.3%である。

17. 問 17

この問 17 は、努力で人は変わるかという人間観について尋ねたものである。

問 17. あなたは、努力することで人は変わることができると思いますか。（○は1つ）

| | | 度数 | 有効% | 累積% |
|-----|--------------------|------|-------|-------|
| 有効数 | 変わることができる | 521 | 35.8 | 35.8 |
| | どちらかというと変わることができる | 701 | 48.1 | 83.9 |
| | どちらともいえない | 183 | 12.6 | 96.4 |
| | どちらかというと変わることができない | 40 | 2.7 | 99.2 |
| | 変わることができない | 12 | .8 | 100.0 |
| | 合計 | 1457 | 100.0 | |
| 欠損値 | 9 | 4 | | |
| 合計 | | 1461 | | |



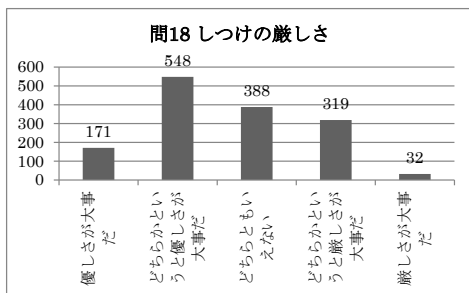
「どちらかといえばと変わることができる」が 48.1%と最大多数、「変わることができる」を合わせると 83.9%に達する。

18. 問 18

この問 18 は、子供のしつけに対する意識について「優しさ」と「厳しさ」の二極で尋ねたものである。

問 18. 子どものしつけでは、優しさと厳しさとでは、どちらがより大事だと思いますか。（○は1つ）

| | | 度数 | 有効% | 累積% |
|-----|-----------------|------|-------|-------|
| 有効数 | 優しさが大事だ | 171 | 11.7 | 11.7 |
| | どちらかといえば優しさが大事だ | 548 | 37.6 | 49.3 |
| | どちらともいえない | 388 | 26.6 | 75.9 |
| | どちらかといえば厳しさが大事だ | 319 | 21.9 | 97.8 |
| | 厳しさが大事だ | 32 | 2.2 | 100.0 |
| | 合計 | 1458 | 100.0 | |
| 欠損値 | 9 | 3 | | |
| 合計 | | 1461 | | |

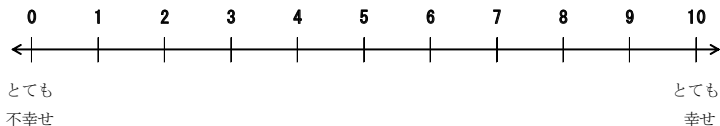


「どちらかといえば優しさ」が最大多数で 37.6%を集めた。「優しさが大事だ」と合わせると約半数に達する。「厳しさが大事だ」「どちらかといえば厳しさが大事だ」の合計は 24.2%と一定の支持がある。極端な回答が避けられている一方、「どちらともいえない」は最大多数とならないのが特徴的である。

19. 問 19

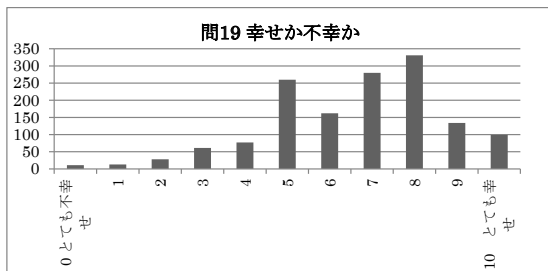
この問 19 は、幸せの度合いについて、10 段階にして尋ねたものである。

問 19. 現在、あなた自身はどの程度幸せですか。「とても幸せ」を 10 点、「とても不幸せ」を 0 点とすると、何点くらいになると思いますか。いずれかの数字を 1 つだけ○で囲んでください。



問 19. 現在、あなた自身はどの程度幸せですか。「とても幸せ」を 10 点、「とても不幸せ」を 0 点とすると、何点くらいになると思いますか。いずれかの数字を 1 つだけ○で囲んでください。

| | 度数 | 有効% | 累積% |
|----------|------|-------|-------|
| 有効数 | | | |
| 0 とても不幸せ | 11 | .8 | .8 |
| 1 | 13 | .9 | 1.6 |
| 2 | 28 | 1.9 | 3.6 |
| 3 | 61 | 4.2 | 7.8 |
| 4 | 77 | 5.3 | 13.0 |
| 5 | 260 | 17.9 | 30.9 |
| 6 | 162 | 11.1 | 42.0 |
| 7 | 280 | 19.2 | 61.3 |
| 8 | 331 | 22.7 | 84.0 |
| 9 | 134 | 9.2 | 93.2 |
| 10 とても幸せ | 99 | 6.8 | 100.0 |
| 合計 | 1456 | 100.0 | |
| 欠損値 | 99 | 5 | |
| 合計 | 1461 | | |



「とても幸せ」10 点満点は 1 割にも満たないが、これは日本人にありがちな遠慮の可能性を考慮しなければな

らない。最大多数は「8」で「7」と並んでピークを作っている。調度中間という「5」にも第二のピークがある。1～4 の不幸せよりは、合計で 13% であった。

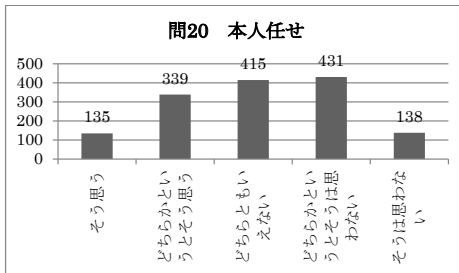
20. 問 20

この問 20 は、自己責任と他者の介入に対する意見について尋ねたものである。

問 20. 本人が希望するのなら、たとえ失敗するのが分かっていても口出しすべきではないと思いますか。

(○は1つ)

| | | 度数 | 有効% | 累積% |
|-----|---------------|------|-------|-------|
| 有効数 | そう思う | 135 | 9.3 | 9.3 |
| | どちらかというと思う | 339 | 23.3 | 32.5 |
| | どちらともいえない | 415 | 28.5 | 61.0 |
| | どちらかというとは思わない | 431 | 29.6 | 90.5 |
| | そうは思わない | 138 | 9.5 | 100.0 |
| | 合計 | 1458 | 100.0 | |
| 欠損値 | 9 | 3 | | |
| 合計 | | 1461 | | |



賛成と反対がほぼ半々に分かれた。「そう思う」「そう思わない」がほぼ同数で回答者の 1 割弱を占めた。「どちらかといえばそう思わないが」微妙に「どちらかといえばそう思う」を上回っている。賛成か反対か迷う問題になら増加するはずの「どちらともいえない」が案外少なく山のピークを作れていない。

21. 問 21

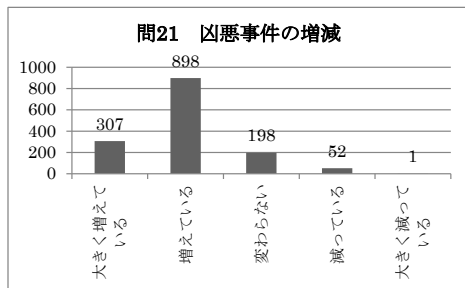
この問 21 は、凶悪事件の増減についての正確な知識を持っているか尋ねたものである。

問 21. あなたは、日本では、ここ 10 年ぐらいで、凶悪事件が増えていると思いますか、減っていると思いますか。(○は1つ)

| | | 度数 | 有効% | 累積% |
|-----|----------|-----|------|-------|
| 有効数 | 大きく増えている | 307 | 21.1 | 21.1 |
| | 増えている | 898 | 61.7 | 82.8 |
| | 変わらない | 198 | 13.6 | 96.4 |
| | 減っている | 52 | 3.6 | 99.9 |
| | 大きく減っている | 1 | .1 | 100.0 |

刑罰とりわけ死刑に関する全国意識調査基本報告書―2014年3月調査（河合 幹雄ほか）

| | | |
|-----|------|-------|
| 合計 | 1456 | 100.0 |
| 欠損値 | 9 | 5 |
| 合計 | 1461 | |



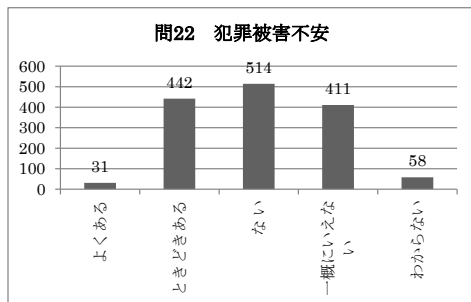
「増えている」が最大の 61.7%、続いて「大きく増えている」21.1%、「減っている」「大きく減っている」は合わせて 3.7%しかない。ちなみに正解は「大きく減っている」で、0.1%に満たない。

22. 問 22

この問 22 は、回答者自身の犯罪不安について尋ねたものである。

問 22 . あなたの日常生活の中で、犯罪や非行の被害を受けそうな不安を感じることがよくありますか、それともそのようなことはありませんか。（〇は1つ）

| | | 度数 | 有効% | 累積% |
|-----|---------|------|-------|-------|
| 有効数 | よくある | 31 | 2.1 | 2.1 |
| | ときどきある | 442 | 30.4 | 32.5 |
| | ない | 514 | 35.3 | 67.8 |
| | 一概にいいない | 411 | 28.2 | 96.0 |
| | わからない | 58 | 4.0 | 100.0 |
| 合計 | | 1456 | 100.0 | |
| 欠損値 | 9 | 5 | | |
| 合計 | | 1461 | | |



「ない」が最大多数の 35.3%、「よくある」は 2.1%しかなかった。

23. 問 23

この問 23 は、犯罪の原因と思われることについてそれぞれ尋ねたものである。

問 23. 次にあげる(a)～(g)は、それぞれの程度、人が犯罪を引き起こす要因として影響していると思いますか。(○はそれぞれ1つずつ) (a)本人自身の性格や資質

| | | 度数 | 有効% | 累積% |
|-----|-----------------|------|-------|-------|
| 有効数 | 影響している | 569 | 39.6 | 39.6 |
| | どちらかというに影響している | 601 | 41.8 | 81.4 |
| | どちらともいえない | 193 | 13.4 | 94.9 |
| | どちらかというに影響していない | 18 | 1.3 | 96.1 |
| | 影響していない | 26 | 1.8 | 97.9 |
| | わからない | 30 | 2.1 | 100.0 |
| | 合計 | 1437 | 100.0 | |
| 欠損値 | 9 | 24 | | |
| 合計 | | 1461 | | |

問 23. 次にあげる(a)～(g)は、それぞれの程度、人が犯罪を引き起こす要因として影響していると思いますか。(○はそれぞれ1つずつ) (b)家庭環境

| | | 度数 | 有効% | 累積% |
|-----|-----------------|------|-------|-------|
| 有効数 | 影響している | 646 | 44.6 | 44.6 |
| | どちらかというに影響している | 590 | 40.7 | 85.3 |
| | どちらともいえない | 160 | 11.0 | 96.3 |
| | どちらかというに影響していない | 15 | 1.0 | 97.4 |
| | 影響していない | 17 | 1.2 | 98.6 |
| | わからない | 21 | 1.4 | 100.0 |
| | 合計 | 1449 | 100.0 | |
| 欠損値 | 9 | 12 | | |
| 合計 | | 1461 | | |

問 23. 次にあげる(a)～(g)は、それぞれの程度、人が犯罪を引き起こす要因として影響していると思いますか。(○はそれぞれ1つずつ) (c)友人関係

| | | 度数 | 有効% | 累積% |
|-----|-----------------|------|-------|-------|
| 有効数 | 影響している | 377 | 26.1 | 26.1 |
| | どちらかというに影響している | 732 | 50.8 | 76.9 |
| | どちらともいえない | 255 | 17.7 | 94.6 |
| | どちらかというに影響していない | 27 | 1.9 | 96.5 |
| | 影響していない | 25 | 1.7 | 98.2 |
| | わからない | 26 | 1.8 | 100.0 |
| | 合計 | 1442 | 100.0 | |

刑罰とりわけ死刑に関する全国意識調査基本報告書—2014年3月調査（河合 幹雄ほか）

| | | |
|-----|---|------|
| 欠損値 | 9 | 19 |
| 合計 | | 1461 |

問 23. 次にあげる(a)～(g)は、それぞれの程度、人が犯罪を引き起こす要因として影響していると思いますか。(○はそれぞれ1つずつ) (d)学校や職場での不適応

| | | 度数 | 有効% | 累積% |
|-----|-----------------|------|-------|-------|
| 有効数 | 影響している | 252 | 17.5 | 17.5 |
| | どちらかというと影響している | 627 | 43.6 | 61.1 |
| | どちらともいえない | 417 | 29.0 | 90.1 |
| | どちらかというと影響していない | 64 | 4.4 | 94.5 |
| | 影響していない | 41 | 2.8 | 97.4 |
| | わからない | 38 | 2.6 | 100.0 |
| | 合計 | 1439 | 100.0 | |
| 欠損値 | 9 | 22 | | |
| 合計 | | 1461 | | |

問 23. 次にあげる(a)～(g)は、それぞれの程度、人が犯罪を引き起こす要因として影響していると思いますか。(○はそれぞれ1つずつ) (e)社会環境(社会の風潮、政治など)

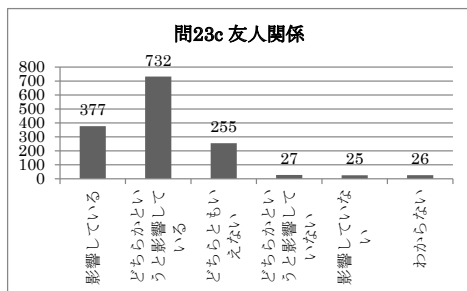
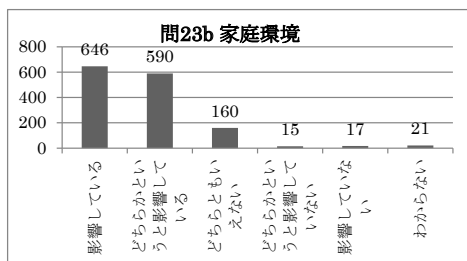
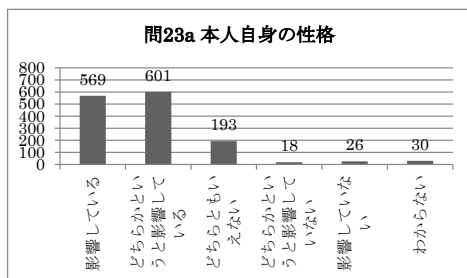
| | | 度数 | 有効% | 累積% |
|-----|-----------------|------|-------|-------|
| 有効数 | 影響している | 196 | 13.6 | 13.6 |
| | どちらかというと影響している | 546 | 37.9 | 51.5 |
| | どちらともいえない | 470 | 32.6 | 84.0 |
| | どちらかというと影響していない | 132 | 9.2 | 93.2 |
| | 影響していない | 51 | 3.5 | 96.7 |
| | わからない | 47 | 3.3 | 100.0 |
| | 合計 | 1442 | 100.0 | |
| 欠損値 | 9 | 19 | | |
| 合計 | | 1461 | | |

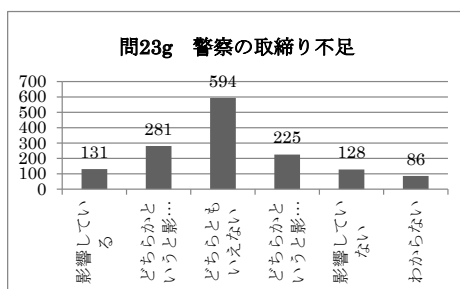
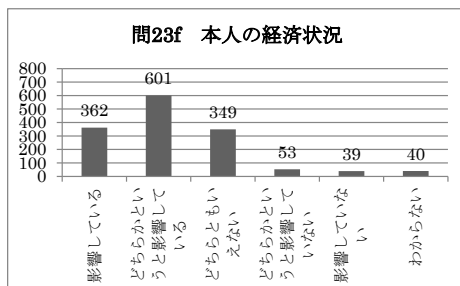
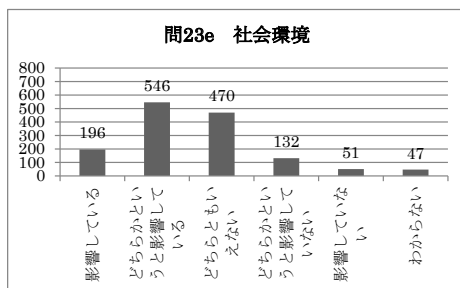
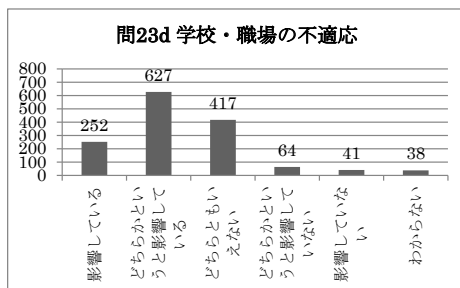
問 23. 次にあげる(a)～(g)は、それぞれの程度、人が犯罪を引き起こす要因として影響していると思いますか。(○はそれぞれ1つずつ) (f)本人の経済状況

| | | 度数 | 有効% | 累積% |
|-----|-----------------|------|-------|-------|
| 有効数 | 影響している | 362 | 25.1 | 25.1 |
| | どちらかというと影響している | 601 | 41.6 | 66.7 |
| | どちらともいえない | 349 | 24.2 | 90.9 |
| | どちらかというと影響していない | 53 | 3.7 | 94.5 |
| | 影響していない | 39 | 2.7 | 97.2 |
| | わからない | 40 | 2.8 | 100.0 |
| | 合計 | 1444 | 100.0 | |
| 欠損値 | 9 | 17 | | |
| 合計 | | 1461 | | |

問 23. 次にあげる(a)～(g)は、それぞれの程度、人が犯罪を引き起こす要因として影響していると思いますか。(○はそれぞれ1つつ) (g)警察の取り締まり不足

| | | 度数 | 有効% | 累積% |
|-----|-----------------|------|-------|-------|
| 有効数 | 影響している | 131 | 9.1 | 9.1 |
| | どちらかというに影響している | 281 | 19.4 | 28.5 |
| | どちらともいえない | 594 | 41.1 | 69.6 |
| | どちらかというに影響していない | 225 | 15.6 | 85.2 |
| | 影響していない | 128 | 8.9 | 94.0 |
| | わからない | 86 | 6.0 | 100.0 |
| | 合計 | 1445 | 100.0 | |
| 欠損値 | 9 | 16 | | |
| 合計 | | 1461 | | |





「影響している」との回答が最大なのは、「家庭環境」44.6%、続いて「本人自身の性格や資質」38.9%であ

った。「どちらかといえば影響している」に回答が多数集まり、「影響している」も多数、そして、「影響していない」「どちらかといえば影響していない」の否定的意見の合計が 1 割前後にとどまるパターンを示すものは「友人関係」「学校や職場の不適応」「社会環境」「本人の経済状況」の 4 つである。「警察の取り締まり不足」については、「わからない」に 6%「どちらともいえない」に 41.1%と判断留保が多い。そのうえで、「影響していない」に 8.9%「どちらかといえば影響していない」15.6%で、否定的意見が、合計で 24.5%、肯定的県の合計が、28.5%に引けを取らない。

24. 問 24

この問 24 は、刑罰の意義や目的について様々に存在する意見に対する賛否を尋ねたものである。

問 24. あなたは、罰として犯罪者を刑務所に入れることの目的についてどうお考えですか。以下の (a) から (g) のそれぞれについてお答えください。

(a) 犯罪者を罰することで、罪を犯した分だけその犯罪者に苦痛を与える (〇は 1 つ)

| | | | | |
|----------|------------------|---------------|------------------|----------|
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 賛成する | どちらかといえば 賛成する | どちらとも いえない | どちらかといえば 反対する | 反対する |

(b) 犯罪者を罰することで、犯罪を犯せばどうなるかを人々に示して、同じ犯罪が起こることを抑制する (〇は 1 つ)

| | | | | |
|----------|------------------|---------------|------------------|----------|
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 賛成する | どちらかといえば 賛成する | どちらとも いえない | どちらかといえば 反対する | 反対する |

(c) 犯罪者を刑務所に入れて、犯罪者がまっとうな人間になるよう教育する (〇は 1 つ)

| | | | | |
|----------|------------------|---------------|------------------|----------|
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 賛成する | どちらかといえば 賛成する | どちらとも いえない | どちらかといえば 反対する | 反対する |

(d) 犯罪者を罰することで、被害者に代わって仕返しをする (〇は 1 つ)

| | | | | |
|----------|------------------|---------------|------------------|----------|
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 賛成する | どちらかといえば 賛成する | どちらとも いえない | どちらかといえば 反対する | 反対する |

(e) 犯罪者に、罪人というレッテルをはることによって、その社会で面目を失わせる (〇は 1 つ)

| | | | | |
|----------|------------------|---------------|------------------|----------|
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 賛成する | どちらかといえば 賛成する | どちらとも いえない | どちらかといえば 反対する | 反対する |

(f) 犯罪者を罰することで、社会のルールを人々が再確認する (〇は 1 つ)

| | | | | |
|----------|------------------|---------------|----------------------|----------|
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 賛成する | どちらかといえば 賛成する | どちらとも いえない | どちらかといえば 反対する z z | 反対する |

(g) 犯罪者を刑務所に入れておいて、犯罪者が犯罪を行えないようにする（○は1つ）

| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
|------|------------------|---------------|------------------|------|
| 賛成する | どちらかといえば 賛成する | どちらとも いえない | どちらかといえば 反対する | 反対する |

問 24. あなたは、罰として犯罪者を刑務所に入れることの目的についてどう考えですか。

(a) 犯罪者を罰することで、罪を犯した分だけその犯罪者に苦痛を与える（○は1つ）

| | | 度数 | 有効% | 累積% |
|-----|--------------|------|-------|-------|
| 有効数 | 賛成する | 518 | 35.6 | 35.6 |
| | どちらかといえば賛成する | 585 | 40.2 | 75.8 |
| | どちらともいえない | 281 | 19.3 | 95.1 |
| | どちらかといえば反対する | 52 | 3.6 | 98.7 |
| | 反対する | 19 | 1.3 | 100.0 |
| | 合計 | 1455 | 100.0 | |
| 欠損値 | 9 | 6 | | |
| 合計 | | 1461 | | |

問 24. あなたは、罰として犯罪者を刑務所に入れることの目的についてどう考えですか。

(b) 犯罪者を罰することで、犯罪を犯せばどうなるかを人々に示して、同じ犯罪が起こることを抑制する（○は1つ）

| | | 度数 | 有効% | 累積% |
|-----|--------------|------|-------|-------|
| 有効数 | 賛成する | 541 | 37.3 | 37.3 |
| | どちらかといえば賛成する | 587 | 40.5 | 77.8 |
| | どちらともいえない | 273 | 18.8 | 96.6 |
| | どちらかといえば反対する | 38 | 2.6 | 99.2 |
| | 反対する | 11 | .8 | 100.0 |
| | 合計 | 1450 | 100.0 | |
| 欠損値 | 9 | 11 | | |
| 合計 | | 1461 | | |

問 24. あなたは、罰として犯罪者を刑務所に入れることの目的についてどう考えですか。

(c) 犯罪者を刑務所に入れて、犯罪者がまっとうな人間になるよう教育する（○は1つ）

| | | 度数 | 有効% | 累積% |
|-----|--------------|------|-------|-------|
| 有効数 | 賛成する | 635 | 43.7 | 43.7 |
| | どちらかといえば賛成する | 529 | 36.4 | 80.2 |
| | どちらともいえない | 243 | 16.7 | 96.9 |
| | どちらかといえば反対する | 32 | 2.2 | 99.1 |
| | 反対する | 13 | .9 | 100.0 |
| | 合計 | 1452 | 100.0 | |
| 欠損値 | 9 | 9 | | |
| 合計 | | 1461 | | |

問 24. あなたは、罰として犯罪者を刑務所に入れることの目的についてどうお考えですか。

(d) 犯罪者を罰することで、被害者に代わって仕返しをする (○は1つ)

| | | 度数 | 有効% | 累積% |
|-----|--------------|------|-------|-------|
| 有効数 | 賛成する | 145 | 10.0 | 10.0 |
| | どちらかといえば賛成する | 266 | 18.3 | 28.3 |
| | どちらともいえない | 591 | 40.7 | 69.0 |
| | どちらかといえば反対する | 241 | 16.6 | 85.6 |
| | 反対する | 209 | 14.4 | 100.0 |
| | 合計 | 1452 | 100.0 | |
| 欠損値 | 9 | 9 | | |
| 合計 | | 1461 | | |

問 24. あなたは、罰として犯罪者を刑務所に入れることの目的についてどうお考えですか。

(e) 犯罪者に、罪人というレッテルをはることによって、その社会で面目を失わせる (○は1つ)

| | | 度数 | 有効% | 累積% |
|-----|--------------|------|-------|-------|
| 有効数 | 賛成する | 84 | 5.8 | 5.8 |
| | どちらかといえば賛成する | 166 | 11.4 | 17.2 |
| | どちらともいえない | 572 | 39.4 | 56.7 |
| | どちらかといえば反対する | 396 | 27.3 | 84.0 |
| | 反対する | 232 | 16.0 | 100.0 |
| | 合計 | 1450 | 100.0 | |
| 欠損値 | 9 | 11 | | |
| 合計 | | 1461 | | |

問 24. あなたは、罰として犯罪者を刑務所に入れることの目的についてどうお考えですか。

(f) 犯罪者を罰することで、社会のルールを人々が再確認する (○は1つ)

| | | 度数 | 有効% | 累積% |
|-----|--------------|------|-------|-------|
| 有効数 | 賛成する | 412 | 28.5 | 28.5 |
| | どちらかといえば賛成する | 625 | 43.2 | 71.7 |
| | どちらともいえない | 359 | 24.8 | 96.5 |
| | どちらかといえば反対する | 32 | 2.2 | 98.7 |
| | 反対する | 19 | 1.3 | 100.0 |
| | 合計 | 1447 | 100.0 | |
| 欠損値 | 9 | 14 | | |
| 合計 | | 1461 | | |

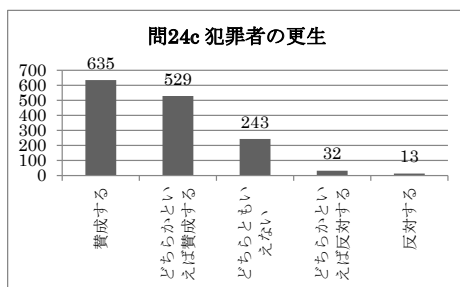
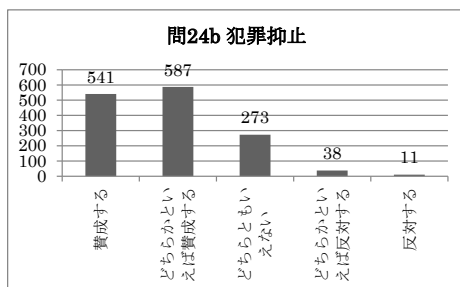
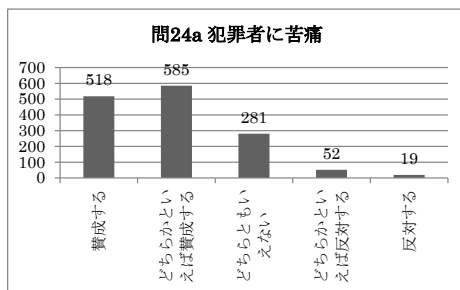
問 24. あなたは、罰として犯罪者を刑務所に入れることの目的についてどうお考えですか。

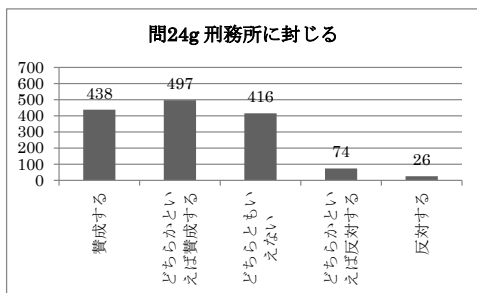
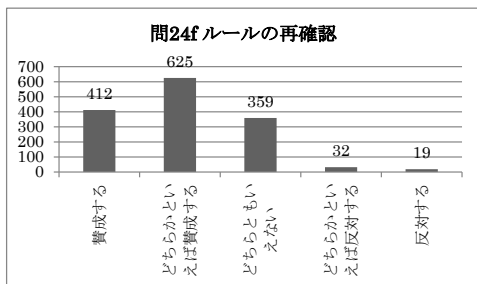
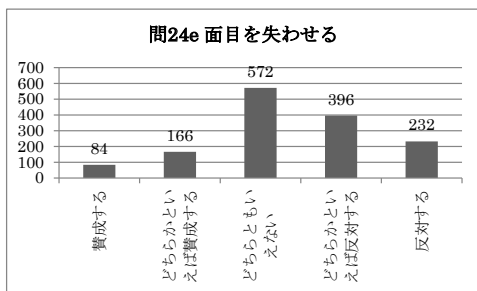
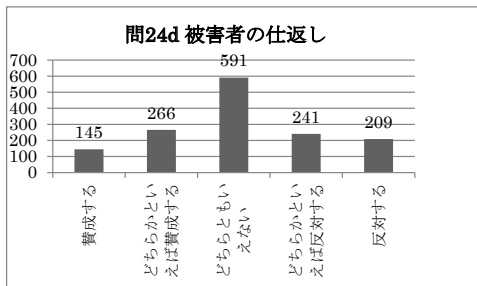
(g) 犯罪者を刑務所に入れておいて、犯罪者が犯罪を行えないようにする (○は1つ)

| | | 度数 | 有効% | 累積% |
|-----|------|-----|------|------|
| 有効数 | 賛成する | 438 | 30.2 | 30.2 |

刑罰とりわけ死刑に関する全国意識調査基本報告書— 2014年3月調査（河合 幹雄ほか）

| | | | |
|--------------|------|-------|-------|
| どちらかといえば賛成する | 497 | 34.3 | 64.4 |
| どちらともいえない | 416 | 28.7 | 93.1 |
| どちらかといえば反対する | 74 | 5.1 | 98.2 |
| 反対する | 26 | 1.8 | 100.0 |
| 合計 | 1451 | 100.0 | |
| 欠損値 | 9 | | 10 |
| 合計 | | | 1461 |





最も強い賛同を集めたのは「犯罪者の更生」で「賛成する」が 43.7%であった。続いて賛成が多いのは、「犯

罪者に苦痛を与える」「犯罪抑止」で、「どちらかといえば賛成」「賛成」の合計が四分の三を超え、反対者はほとんどいない。

「社会のルールを確認」「刑務所に閉じ込めて犯罪できなくする」は、反対者はほとんどいないが、強い賛成も」えられていない。

「被害者の仕返し」は、「どちらともいえない」に 40.7%も集まり、「反対」が「賛成」を少し上回ったが有意差は認められていない。「面目を失わせる」は、「反対」「どちらかといえば反対」の合計が 43.3%にのぼり、賛成派の合計 17.2%を大きく上回った。「どちらともいえない」の回答も 4 割もあり、賛成することに抵抗を感じた人が多いというようにも解釈可能である。

25.問 25

この問 25 は、様々な犯罪に対する刑罰の軽重について尋ねたものである。

問 25. あなたは、日本の刑罰は軽すぎると思いますが、それとも重すぎると思いますか。
次の (a) ～ (h) の犯罪それぞれについて、あてはまるものを選んでください。
 (○はそれぞれ 1 つずつ)

| | 軽すぎる | どちらかという と軽すぎる | 適切である | どちらかという と重すぎる | 重すぎる | わからない |
|----------------------|------|------------------|-------|------------------|------|-------|
| (a) 殺人・・・・・・・・・・ → | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| (b) 強盗・・・・・・・・・・ → | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| (c) 放火・・・・・・・・・・ → | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| (d) 性犯罪・・・・・・・・・・ → | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| (e) 飲酒運転・・・・・・・・・・ → | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| (f) 窃盗・・・・・・・・・・ → | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| (g) 少年犯罪・・・・・・・・・・ → | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| (h) 児童虐待・・・・・・・・・・ → | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |

問 25. あなたは、日本の刑罰は軽すぎると思いますが、それとも重すぎると思いますか。(a) 殺人

| | | 度数 | 有効% | 累積% |
|-----|--------------|-----|------|------|
| 有効数 | 軽すぎる | 573 | 39.5 | 39.5 |
| | どちらかというと軽すぎる | 412 | 28.4 | 68.0 |
| | 適切である | 240 | 16.6 | 84.5 |
| | どちらかというと重すぎる | 5 | .3 | 84.9 |

| | | | | |
|-----|-------|------|-------|-------|
| | 重すぎる | 5 | .3 | 85.2 |
| | わからない | 214 | 14.8 | 100.0 |
| | 合計 | 1449 | 100.0 | |
| 欠損値 | 9 | 12 | | |
| 合計 | | 1461 | | |

問 25. あなたは、日本の刑罰は軽すぎると思いますが、それとも重すぎると思いますが。(b) 強盗

| | | 度数 | 有効% | 累積% |
|-----|-------------|------|-------|-------|
| 有効数 | 軽すぎる | 346 | 24.0 | 24.0 |
| | どちらかという軽すぎる | 449 | 31.2 | 55.2 |
| | 適切である | 364 | 25.3 | 80.5 |
| | どちらかという重すぎる | 4 | .3 | 80.8 |
| | 重すぎる | 3 | .2 | 81.0 |
| | わからない | 274 | 19.0 | 100.0 |
| | 合計 | 1440 | 100.0 | |
| 欠損値 | 9 | 21 | | |
| 合計 | | 1461 | | |

問 25. あなたは、日本の刑罰は軽すぎると思いますが、それとも重すぎると思いますが。(c) 放火

| | | 度数 | 有効% | 累積% |
|-----|-------------|------|-------|-------|
| 有効数 | 軽すぎる | 460 | 31.9 | 31.9 |
| | どちらかという軽すぎる | 384 | 26.6 | 58.5 |
| | 適切である | 319 | 22.1 | 80.6 |
| | どちらかという重すぎる | 7 | .5 | 81.1 |
| | 重すぎる | 6 | .4 | 81.5 |
| | わからない | 267 | 18.5 | 100.0 |
| | 合計 | 1443 | 100.0 | |
| 欠損値 | 9 | 18 | | |
| 合計 | | 1461 | | |

問 25. あなたは、日本の刑罰は軽すぎると思いますが、それとも重すぎると思いますが。(d) 性犯罪

| | | 度数 | 有効% | 累積% |
|-----|-------------|------|-------|-------|
| 有効数 | 軽すぎる | 604 | 41.7 | 41.7 |
| | どちらかという軽すぎる | 459 | 31.7 | 73.5 |
| | 適切である | 178 | 12.3 | 85.8 |
| | どちらかという重すぎる | 6 | .4 | 86.2 |
| | 重すぎる | 3 | .2 | 86.4 |
| | わからない | 197 | 13.6 | 100.0 |
| | 合計 | 1447 | 100.0 | |
| 欠損値 | 9 | 14 | | |
| 合計 | | 1461 | | |

問 25. あなたは、日本の刑罰は軽すぎると思いますが、それとも重すぎると思いますが。(c) 飲酒運転

| | | 度数 | 有効% | 累積% |
|-----|-------------|------|-------|-------|
| 有効数 | 軽すぎる | 463 | 32.0 | 32.0 |
| | どちらかという軽すぎる | 369 | 25.5 | 57.5 |
| | 適切である | 410 | 28.3 | 85.8 |
| | どちらかという重すぎる | 36 | 2.5 | 88.3 |
| | 重すぎる | 32 | 2.2 | 90.5 |
| | わからない | 137 | 9.5 | 100.0 |
| | 合計 | 1447 | 100.0 | |
| 欠損値 | 9 | 14 | | |
| 合計 | | 1461 | | |

問 25. あなたは、日本の刑罰は軽すぎると思いますが、それとも重すぎると思いますが。(f) 窃盗

| | | 度数 | 有効% | 累積% |
|-----|-------------|------|-------|-------|
| 有効数 | 軽すぎる | 289 | 20.2 | 20.2 |
| | どちらかという軽すぎる | 373 | 26.0 | 46.2 |
| | 適切である | 483 | 33.7 | 80.0 |
| | どちらかという重すぎる | 13 | .9 | 80.9 |
| | 重すぎる | 3 | .2 | 81.1 |
| | わからない | 271 | 18.9 | 100.0 |
| | 合計 | 1432 | 100.0 | |
| 欠損値 | 9 | 29 | | |
| 合計 | | 1461 | | |

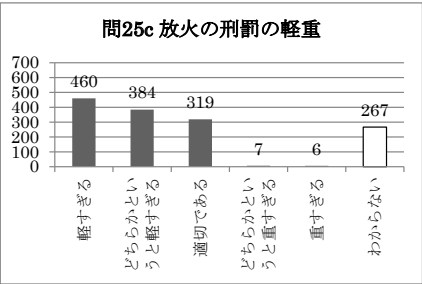
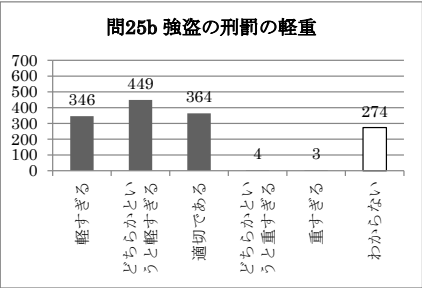
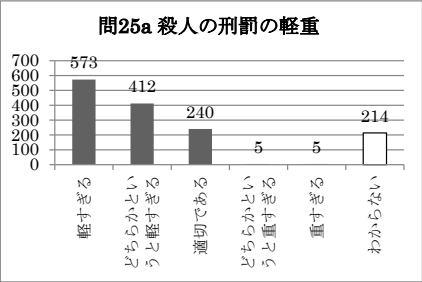
問 25. あなたは、日本の刑罰は軽すぎると思いますが、それとも重すぎると思いますが。(g) 少年犯罪

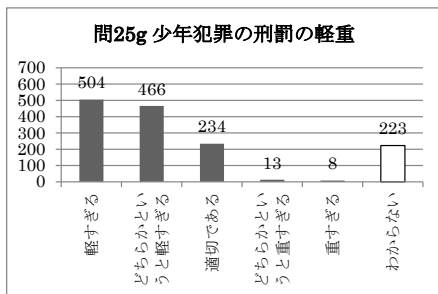
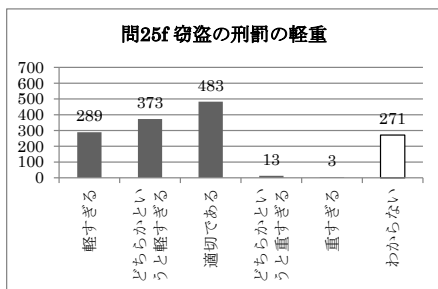
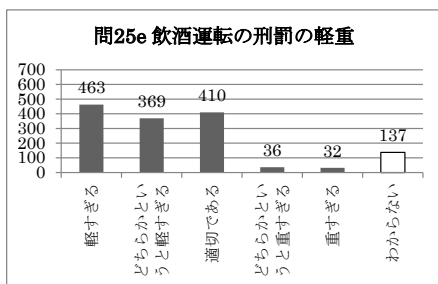
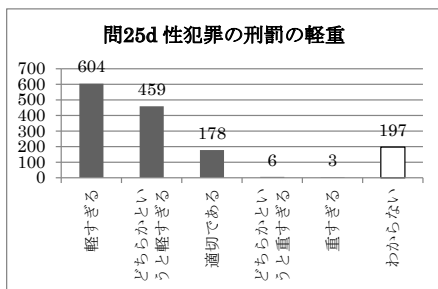
| | | 度数 | 有効% | 累積% |
|-----|-------------|------|-------|-------|
| 有効数 | 軽すぎる | 504 | 34.8 | 34.8 |
| | どちらかという軽すぎる | 466 | 32.2 | 67.0 |
| | 適切である | 234 | 16.2 | 83.1 |
| | どちらかという重すぎる | 13 | .9 | 84.0 |
| | 重すぎる | 8 | .6 | 84.6 |
| | わからない | 223 | 15.4 | 100.0 |
| | 合計 | 1448 | 100.0 | |
| 欠損値 | 9 | 13 | | |
| 合計 | | 1461 | | |

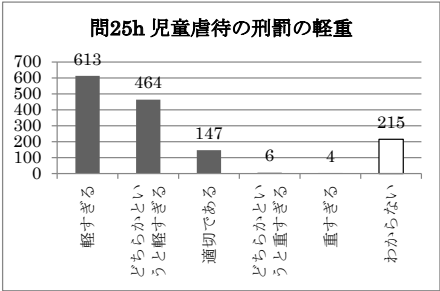
問 25. あなたは、日本の刑罰は軽すぎると思いますが、それとも重すぎると思いますが。(h) 児童虐待

| | | 度数 | 有効% | 累積% |
|-----|------|-----|------|------|
| 有効数 | 軽すぎる | 613 | 42.3 | 42.3 |

| | | | |
|--------------|------|-------|-------|
| どちらかというと軽すぎる | 464 | 32.0 | 74.3 |
| 適切である | 147 | 10.1 | 84.5 |
| どちらかというと重すぎる | 6 | .4 | 84.9 |
| 重すぎる | 4 | .3 | 85.2 |
| わからない | 215 | 14.8 | 100.0 |
| 合計 | 1449 | 100.0 | |
| 欠損値 | 9 | 12 | |
| 合計 | | 1461 | |







凶悪事件「殺人」「強盗」「放火」「性犯罪」と「少年犯罪」は、類似したパターンを示す。「重すぎる」「どちらかといえば重すぎる」が、実数としてそれぞれ 10 人以下でほとんどいないで、「軽すぎる」が最大となる。そのなかで、「適切である」が少なく、「軽すぎる」が多い順に、「児童虐待」「性犯罪」「殺人」「放火」「強盗」になる。

「飲酒運転」については、「軽すぎる」が最大ながらも、「重すぎる」「どちらかといえば重すぎる」に少数ながら支持者があり、「適切である」とする者も 28.3%いる独特のパターンである。

「窃盗」のみ、「適切である」が 33.7%で最大となっている。「軽すぎる」も凶悪犯と比較すれば少ない。

人々は、量刑相場についての知識はほとんどないはずである。「わからない」という選択肢が用意されているので、そこに回答が集中することもありえると思えたが、2 割にも満たなかった。

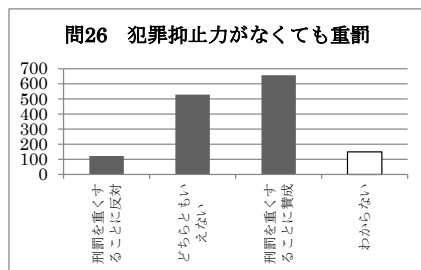
26. 問 26

この問 26 は、刑罰に犯罪抑止力がないと仮定した場合の重罰に対する意見について尋ねたものである。

問 26. 仮に、「刑罰を重くしても、犯罪が減ることはない」とわかったとします。その場合、あなたは、

刑罰を重くすることに反対ですか、それとも賛成ですか。(○は1つ)

| | | 度数 | 有効% | 累積% |
|-----|--------------|------|-------|-------|
| 有効数 | 刑罰を重くすることに反対 | 122 | 8.4 | 8.4 |
| | どちらともいえない | 529 | 36.3 | 44.7 |
| | 刑罰を重くすることに賛成 | 657 | 45.1 | 89.8 |
| | わからない | 149 | 10.2 | 100.0 |
| | 合計 | 1457 | 100.0 | |
| 欠損値 | 9 | 4 | | |
| 合計 | | 1461 | | |



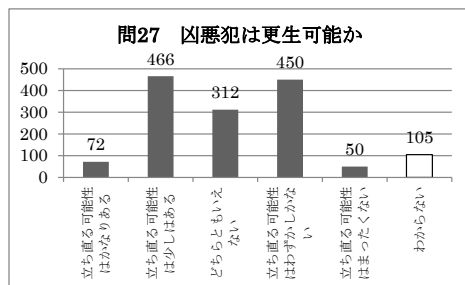
「刑罰を重くすることに賛成」が最大で45.1%、「反対」は8.4%しかない。

27. 問 27

この問 27 は、重大犯罪を犯した人間が更生可能と考えるか人間観について尋ねたものである。

問 27. あなたは、重大な犯罪を犯した人は、どの程度立ち直ると思いますか。(○は1つ)

| | | 度数 | 有効% | 累積% |
|-----|----------------|------|-------|-------|
| 有効数 | 立ち直る可能性はかなりある | 72 | 4.9 | 4.9 |
| | 立ち直る可能性は少しはある | 466 | 32.0 | 37.0 |
| | どちらともいえない | 312 | 21.4 | 58.4 |
| | 立ち直る可能性はわずかしかな | 450 | 30.9 | 89.3 |
| | 立ち直る可能性はまったくない | 50 | 3.4 | 92.8 |
| | わからない | 105 | 7.2 | 100.0 |
| 合計 | | 1455 | 100.0 | |
| 欠損値 | 9 | 6 | | |
| 合計 | | 1461 | | |



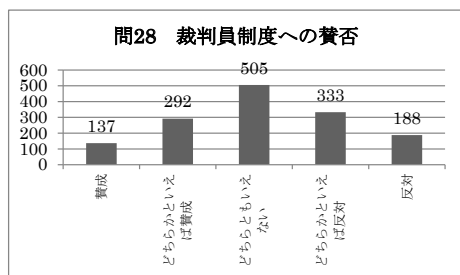
可能性あるなしは拮抗している。どちらも極端な意見は少ない。「どちらともいえない」が少なめで真ん中にピークがこない二山の分布となっている。

28. 問 28

この問 28 は、裁判員制度の導入に対する賛否を尋ねたものである。

問 28. あなたは、裁判員による裁判が導入されたことに賛成ですか、反対ですか。（○は1つ）

| | | 度数 | 有効% | 累積% |
|-----|------------|------|-------|-------|
| 有効数 | 賛成 | 137 | 9.4 | 9.4 |
| | どちらかといえば賛成 | 292 | 20.1 | 29.5 |
| | どちらともいえない | 505 | 34.7 | 64.2 |
| | どちらかといえば反対 | 333 | 22.9 | 87.1 |
| | 反対 | 188 | 12.9 | 100.0 |
| | 合計 | 1455 | 100.0 | |
| 欠損値 | 9 | 6 | | |
| 合計 | | 1461 | | |



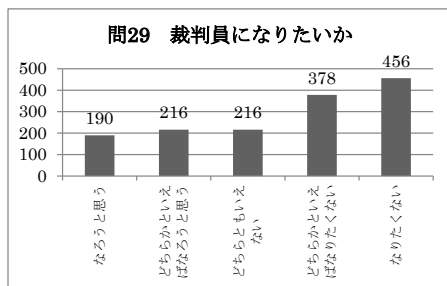
「どちらともいえない」が 34.7%で最大、それぞれ「賛成」「反対」も一割以上おり、きれいな富士山型の山となった。

29. 問 29

この問 29 は、裁判員の呼び出しに対して、なる気があるか尋ねたものである。

問 29. あなたは、裁判員になる呼び出しを受けたとき、さしさわりがなかったら裁判員になろうと思いますか、思いませんか。（○は1つ）

| | | 度数 | 有効% | 累積% |
|-----|----------------|------|-------|-------|
| 有効数 | なろうと思う | 190 | 13.0 | 13.0 |
| | どちらかといえばなろうと思う | 216 | 14.8 | 27.9 |
| | どちらともいえない | 216 | 14.8 | 42.7 |
| | どちらかといえばなりたくない | 378 | 26.0 | 68.7 |
| | なりたくない | 456 | 31.3 | 100.0 |
| | 合計 | 1456 | 100.0 | |
| 欠損値 | 9 | 5 | | |
| 合計 | | 1461 | | |



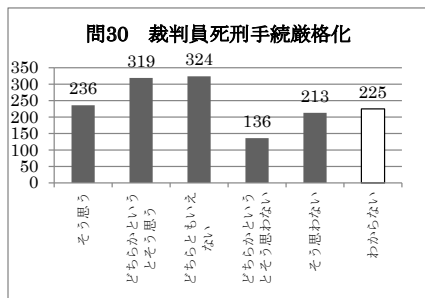
「なりたくない」が最大で 31、3%、「どちらかといえばなりたくない」を合わせると、57.3%に達する。他方で、「なりたと思う」も 13.0%と一定数存在する。

30. 問 30

この問 30 は、裁判員裁判における死刑判決の特別手続の導入について尋ねたものである。

**問 30. あなたは、裁判員制度で死刑判決が出るかもしれないときは、通常の多数決ではなく、
全員一致でしか結論が出せないように特別の手続をすべきだと思いますか。（○は1つ）**

| | | 度数 | 有効% | 累積% |
|-----|--------------|------|-------|-------|
| 有効数 | そう思う | 236 | 16.2 | 16.2 |
| | どちらかというと思う | 319 | 22.0 | 38.2 |
| | どちらともいえない | 324 | 22.3 | 60.5 |
| | どちらかというと思わない | 136 | 9.4 | 69.9 |
| | そう思わない | 213 | 14.7 | 84.5 |
| | 6 | 225 | 15.5 | 100.0 |
| | 合計 | 1453 | 100.0 | |
| 欠損値 | 9 | 8 | | |
| 合計 | | 1461 | | |



「どちらかといえばそう思わない」が最少となり山形が凹む結果となった。「そう思う」と「どちらかといえ
ばそう思う」の合計が、38.2%、反対派の合計は 24.1%、「わからない」が 15.4%であった。

31. 問 31

この問 31 は、ひとりの無実の者にこだわるか、多数の真犯人を取り逃がすかについての意見に対して尋ね
たものである。

問 31. ここに 100 人の人がいて、99 人は本当に罪を犯しており、1 人だけは無実で罪を犯していないとしま
す。このようなとき次の 2 つの意見があります。

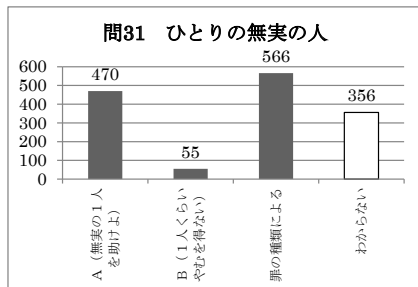
- ・意見 A 「この 1 人の無実のものが誤って罰せられるのは、他の 99 人が罰をのがれることより大変なことで
あるから、1 人でも無実のものが有罪にされるようなことになるよりは、99 人の有罪者が無罪に
なってもやむを得ない」
- ・意見 B 「1 人の無実の人には気の毒であるが、だからといって 99 人の本当に罪を犯しているものをすべて無
実にしてしまうのでは、社会の秩序は保てない。100 人とも処罰することになってもやむをえない」

あなたは A、B のどちらの意見に賛成ですか。（○は 1 つ）

- 1 A（無実の 1 人を助けよ）
- 2 B（1 人くらいやむを得ない）
- 3 罪の種類による
- 4 わからない

問 31. A 「1 人でも無実のものが有罪にされるようなことになるよりは、99 人の有罪者が無罪になっても
やむを得ない」 B 「1 人の無実の人には気の毒であるが、100 人とも処罰することになっても
やむをえない」 あなたは A、B のどちらの意見に賛成ですか。（○は 1 つ）

| | | 度数 | 有効% | 累積% |
|-----|----------------|------|-------|-------|
| 有効数 | A(無実の1人を助けよ) | 470 | 32.5 | 32.5 |
| | B(1人くらいやむを得ない) | 55 | 3.8 | 36.3 |
| | 罪の種類による | 566 | 39.1 | 75.4 |
| | わからない | 356 | 24.6 | 100.0 |
| | 合計 | 1447 | 100.0 | |
| 欠損値 | 9 | 14 | | |
| 合計 | | 1461 | | |



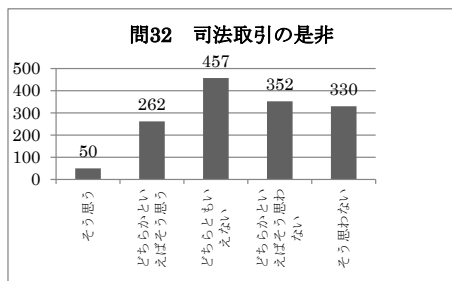
「無実のひとりを助けよ」が32.5%、「ひとりはやむを得ない」は3.8%とほとんどいなかった。他方、罪の種類によるとする者が、39.1%もあり、「わからない」も24.6%もいる。

32. 問 32

この問 32 は、司法取引制度について尋ねたものである。

問 32. あなたは、「犯行について話してくれた人には、それと引き換えに刑を軽くしてもよい」と思いますか。（〇は1つ）

| | | 度数 | 有効% | 累積% |
|-----|----------------|------|-------|-------|
| 有効数 | そう思う | 50 | 3.4 | 3.4 |
| | どちらかといえばそう思う | 262 | 18.1 | 21.5 |
| | どちらともいえない | 457 | 31.5 | 53.0 |
| | どちらかといえばそう思わない | 352 | 24.3 | 77.3 |
| | そう思わない | 330 | 22.7 | 100.0 |
| | 合計 | 1451 | 100.0 | |
| 欠損値 | 9 | 10 | | |
| 合計 | | 1461 | | |



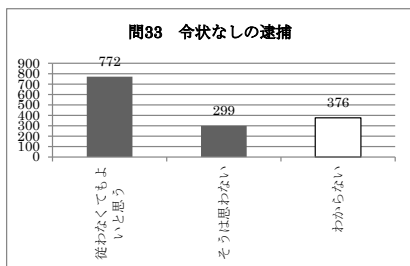
「どちらともいえない」が最多数で 31.5%。賛成派の合計は 21.5%であるのに対して、反対派の合計は 46.7%もあり、反対派のほうが優位である。特に明確に反対のものが相当数いる。

33. 問 33

この問 33 は、警察の不法な取調べに従うかどうか尋ねたものである。

問 33. あなたは、逮捕令状があっても身に覚えがないことであるなら、従わなくてもよいと思いますか、そうは思いませんか。（○は1つ）

| | | 度数 | 有効% | 累積% |
|-----|-------------|------|-------|-------|
| 有効数 | 従わなくてもよいと思う | 772 | 53.4 | 53.4 |
| | そうは思わない | 299 | 20.7 | 74.0 |
| | わからない | 376 | 26.0 | 100.0 |
| | 合計 | 1447 | 100.0 | |
| 欠損値 | 9 | 14 | | |
| 合計 | | 1461 | | |



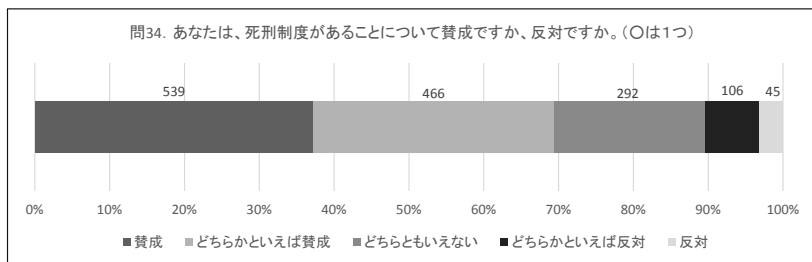
「従わなくてよいと思う」が 53.4%で最大多数。「そうは思わない」は 20.7%と少数。「わからない」と答えたものが 26%にのぼった。

34. 問 34

問 34 では、死刑制度に対する賛否を尋ねた。「賛成」としたものがもっとも多く 37.2%、「どちらかといえば賛成」が 32.2%、「どちらともいえない」としたものが 20.2%、「どちらかといえば反対」が 7.3%、「反対」が 3.1%という結果になった。「賛成」と「どちらかといえば賛成」としたものをあわせると、有効回答の 69.4%と多数が賛意を示していることになる。

問34. あなたは、死刑制度があることについて賛成ですか、反対ですか。（○は1つ）

| | | 度数 | 有効% | 累積% |
|-----|------------|------|-------|-------|
| 有効数 | 賛成 | 539 | 37.2 | 37.2 |
| | どちらかといえば賛成 | 466 | 32.2 | 69.4 |
| | どちらともいえない | 292 | 20.2 | 89.6 |
| | どちらかといえば反対 | 106 | 7.3 | 96.9 |
| | 反対 | 45 | 3.1 | 100.0 |
| | 合計 | 1448 | 100.0 | |
| 欠損値 | 9 | 13 | | |
| 合計 | | 1461 | | |



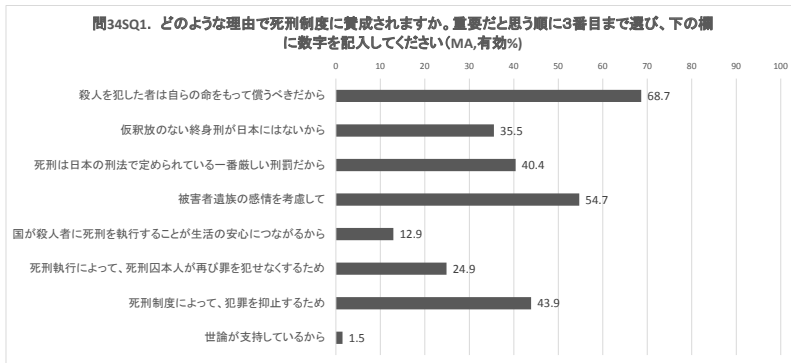
とはいえ、この結果は、2014年11月に行われた内閣府による調査（基本的法制度に関する世論調査）と比較すると、死刑制度に賛成するものの割合が低くなっている。内閣府による当該調査は、「死刑制度に関して、このような意見がありますが、あなたはどちらの意見に賛成ですか」という設問と、それに対して「死刑は廃止すべきである」「死刑もやむをえない」「わからない・一概に言えない」という三つの選択肢を用意しており、結果はそれぞれ9.7%、80.3%、9.9%（N=1826、有効パーセント）となっている。

調査時期が異なるとはいえ、これらふたつの調査の結果の違いにはいくつか考慮すべき要因が存在すると思われる。第一に、冒頭で述べたとおり、本調査の実施時に確定死刑囚の冤罪に関する報道が広くなされており、その影響から、死刑制度に賛成する回答の割合が減った可能性がある。冤罪に関する情報が、死刑制度ないし死刑執行に対する賛否に影響する程度は、本調査問43の結果（後述）を見ても顕著であることが推察でき、さらなる精査が必要である。

第二に、内閣府が2014年に行った調査が、そのワーディング上の問題から、賛成意見を実態よりも過大に反映している可能性がある。内閣府が、1994年から2009年まで5年ごとに行ってきた調査では、同じ設問に対して「場合によっては死刑もやむを得ない」「どんな場合でも死刑は廃止すべきである」「わからない・一概に言えない」という三つの回答選択肢を提示していた。これについては従来から批判があり¹、2014年の調査では選択肢の文章が一部改められたが、なお死刑制度を廃止すべきとする意見については「廃止すべき」としているのに対し、死刑に賛成する回答については、「やむをえない」という表現を採用しており、問題が残るといえる。

次に上記問34で死刑制度に「賛成」または「どちらかといえば賛成」と答えたものを対象に、どのような理由で死刑制度に賛成するのか、重要だと思う順に三つまで選ぶよう求めた。重要さの順位を度外視して、選択したものの割合を示したのが、図34SQ1である。

¹ たとえば日本弁護士連合会は、「死刑制度に関する政府の世論調査に対する意見書」（2013）のなかで、内閣府調査の当該設問について、「死刑存続側に回答を誘導するような選択肢がもちいられている」としている。この意見書は、法務省が主催した「死刑制度に関する世論調査についての検討会」第1回会議（2014年8月28日）でも資料として配布されている。（法務省2014）



特に選択された割合が多いのは、「殺人を犯した者は自らの命をもって償うべきだから」（68.7%）、「被害者遺族の感情を考慮して」（54.7%）「死刑制度によって、犯罪を抑止するため」（43.9%）などであった。

問34SQ2. あなたは、将来も死刑を廃止しない方がよいと思いますか、それとも、状況が変われば将来的には、死刑を廃止してもよいと思いますか。(○は1つ)

| | | 度数 | % | 有効% | 累積% |
|-----|--------------------------|------|-------|-------|-------|
| 有効数 | 将来も死刑を廃止しない方がよい | 729 | 49.9 | 72.8 | 72.8 |
| | 状況が変われば、将来的には、死刑を廃止してもよい | 200 | 13.7 | 20.0 | 92.8 |
| | わからない | 72 | 4.9 | 7.2 | 100.0 |
| | 合計 | 1001 | 68.5 | 100.0 | |
| 欠損値 | 8 | 456 | 31.2 | | |
| | 9 | 4 | .3 | | |
| | 合計 | 460 | 31.5 | | |
| 合計 | | 1461 | 100.0 | | |

同じく、死刑制度に「賛成」または「どちらかといえば賛成」と答えたものを対象に、将来の廃止可能性について尋ねたのが、次のサブクエスションである。「将来も死刑を廃止しない方がよい」としたのは、72.8%、「状況が変われば、将来的には、死刑を廃止してもよい」としたのは、13.7%、「わからない」としたのは4.9%であった。問 34 で「(どちらかといえば) 廃止すべき」ないし「どちらともいえない」としたもの（上記の表では欠損値扱い）も含めて考えると、「将来も死刑を廃止しないほうがよい」としたのは、全体の 49.9%に相当する。厳密な意味で、死刑存置論者としてみなすことができるのはこの群であり、国民の半数程度であることがわかる。

問34SQ3. あなたは、死刑制度を廃止した場合、凶悪な犯罪は今より増えると思いますか。(○は1つ)

| | | 度数 | 有効% | 累積% |
|-----|---------|------|-------|-------|
| 有効数 | 増えると思う | 676 | 67.5 | 67.5 |
| | 増えないと思う | 89 | 8.9 | 76.3 |
| | わからない | 237 | 23.7 | 100.0 |
| | 合計 | 1002 | 100.0 | |
| 欠損値 | 8 | 456 | | |
| | 9 | 3 | | |
| | 合計 | 459 | | |
| 合計 | | 1461 | | |

死刑を支持するもののうち、67.5%が「死刑制度を廃止した場合に、凶悪な犯罪が今より増える」と考えていることがわかる。さらに「わからない」としているものが、23.7%おり、死刑制度を廃止しても、凶悪は犯罪が増えないという考えをもちながら、なお、死刑制度の存置を支持している割合は、8.9%と少ない割合になっている。

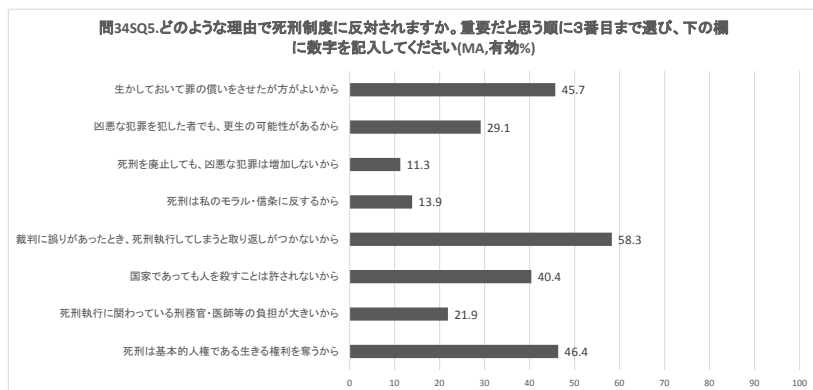
やはり死刑存置を支持するものを対象として、「死刑制度を廃止しても、凶悪な犯罪は増えない」ことを想定させて、廃止すべきであるかそうではないかを尋ねたのが、次の問い（問 34SQ4）である。

問34SQ4. 仮に、「死刑制度を廃止しても、凶悪な犯罪は増えない」ことがわかったとします。その場合、死刑制度は廃止すべきだと思いますか、それとも、廃止すべきではないと思いますか。

| | | 度数 | 有効% | 累積% |
|-----|-----------|------|-------|-------|
| 有効数 | 廃止すべきである | 140 | 14.1 | 14.1 |
| | 廃止すべきではない | 645 | 65.0 | 79.1 |
| | わからない | 208 | 20.9 | 100.0 |
| | 合計 | 993 | 100.0 | |
| 欠損値 | 8 | 456 | | |
| | 9 | 12 | | |
| | 合計 | 468 | | |
| 合計 | | 1461 | | |

死刑を廃止しても凶悪犯罪が増えないという仮定はすなわち、死刑に凶悪犯罪に対する抑止効果が認められないという事実を想定させるという趣旨によるが、その場合でも、死刑を廃止すべきではないとした群が64.5%と過半数を占めた。上記の問 34SQ2において、死刑制度の存置を支持する第一の理由として、「死刑制度によって、犯罪を抑止するため」という項目を選んだ割合は、存置支持者の10.3%であり、多くは、死刑制度に抑止効果が認められなかったとしてもただちに死刑を廃止すべきだとは考えていないことが明らかである。

さて、今度は問 34 において死刑制度に「反対」または「どちらかといえば反対」と答えたものを全体の10.4%を対象に、どのような理由で死刑制度に反対するのか、重要だと思う順に三つまで選ぶよう求めたのが SQ5 である。これについても重要さの順位を度外視して、選択したものの割合を示す（下図）。



選択者の割合が最も多いのは、「裁判に誤りがあったとき、死刑執行してしまふと取り返しがつかないから」というものであり、58.3%となっている。次いで「死刑は基本的人権である生きる権利を奪うから」（46.4%）、「生かしておいて罪の償いをさせた方がよいから」（45.7%）、「国家であつても人を殺すことは許されないから」（40.4%）などの理由が多く選ばれている。

問34SQ6. あなたは、死刑制度を廃止した場合、凶悪な犯罪は今より増えると思いますか。（○は1つ）

| | | 度数 | 有効% | 累積% |
|-----|---------|------|-------|-------|
| 有効数 | 増えると思う | 16 | 11.0 | 11.0 |
| | 増えないと思う | 55 | 37.7 | 48.6 |
| | わからない | 75 | 51.4 | 100.0 |
| | 合計 | 146 | 100.0 | |
| 欠損値 | 8 | 1310 | | |
| | 9 | 5 | | |
| | 合計 | 1315 | | |
| 合計 | | 1461 | | |

存置支持者を対象とした上記の SQ3 と対になる質問項目として、死刑廃止を支持するものに対しても、死刑制度を廃止した場合、凶悪犯罪が増えると思うかどうかを尋ねたところ（SQ6）、「増える」と考えるものは、存置を支持するものに対して著しく低く、11.0%にとどまることがわかった。もっとも多いのは、「わからない」とする 51.4%であり、「増えないと思う」群は 37.7%であった。

死刑廃止を支持するものに対し、死刑制度に凶悪犯罪に対する抑止効果が認められた場合を仮定したうえで、あらためて廃止の是非を問うたのが次のサブクエスチョンである。「死刑制度を廃止した場合、凶悪な犯罪が増える」という事実には科学的根拠があるわけではないが、抑止効果の有無についての信念が、死刑を廃止すべきだとする意見に対して、どの程度効果を及ぼしているか、またその効果の度合が、存置を支持する意見に対する効果と比べてどのようであるかを調べるために設定したものである。

問34SQ7. 仮に、「死刑制度を廃止した場合、凶悪な犯罪が増える」ことがわかったとします。その場合、死刑を廃止すべきだと思いますか、それとも廃止すべきではないと思いますか。（○は1つ）

| | | 度数 | 有効% | 累積% |
|-----|-----------|------|-------|-------|
| 有効数 | 廃止すべきである | 55 | 38.7 | 38.7 |
| | 廃止すべきではない | 31 | 21.8 | 60.6 |
| | わからない | 56 | 39.4 | 100.0 |
| | 合計 | 142 | 100.0 | |
| 欠損値 | 8 | 1310 | | |
| | 9 | 9 | | |
| | 合計 | 1319 | | |
| 合計 | | 1461 | | |

死刑制度の存置を支持するもののうちの多く（65.0%）が、死刑による凶悪犯罪の抑止が認められないという仮定によつてもなお意見を変えなかったのに比べ、廃止を支持するものの場合、犯罪抑止の効果がありと認められた場合には、意見を変える（「廃止すべきではない」ないし「わからない」とする）ものの割合の方が逆に多い（61.2%）。廃止への支持を変えないとしたものの割合は 38.7%にとどまり、存置支持者のうち意見に固執した割合に比べて、顕著に低くなっている。また「わからない」ではなく、もし死刑に犯罪抑止効果があるなら、死刑は「廃止すべきではない」と明確に態度を変更したのは 21.8%となっている。抑止効果があ

るなら存置支持から廃止支持に転じるとした者の割合は14.1%であったので、この点からも死刑制度による凶悪犯罪に対する抑止効果は、存置を支持するものよりも、廃止を支持するものにとって重視されているといえる。

問35. あなたは、現在の死刑判決の数を、今より増やすべきだと思いますか、減らすべきだと思いますか。（○は1つ）

| | | 度数 | 有効% | 累積% |
|-----|-----------|------|-------|-------|
| 有効数 | 今より増やすべきだ | 367 | 25.9 | 25.9 |
| | 現状でよい | 864 | 61.1 | 87.0 |
| | 今より減らすべきだ | 184 | 13.0 | 100.0 |
| | 合計 | 1415 | 100.0 | |
| 欠損値 | 9 | 46 | | |
| 合計 | | 1461 | | |

死刑制度の存廃についての立場にかかわらず、「現在の死刑判決の数」に対する認識を問うところ、「現状でよい」としたものの割合がもともと多く61.1%、次いで「今より増やすべきだ」とするものが、25.9%、「今より減らすべきだ」とするものが、13.0%となった。

問34と問35のクロス表

| 問35. あなたは、現在の死刑判決の数を、今より増やすべきだと思いますか、減らすべきだと思いますか | | | | | |
|---|-----------|---|--------------|--------------|----------------|
| | | 問34. あなたは、死刑制度があることについて賛成ですか、反対ですか (recoded) | | | 合計 |
| | | 賛成 | 反対 | 合計 | |
| 問34. あなたは、死刑制度があることについて賛成ですか、反対ですか (recoded) | 賛成 | 度数 348 % | 592 60.5% | 38 3.9% | 978 100.0% |
| | 賛成 | 調整済み残差 12.5 | -7 | -15.3 | |
| | どちらともいえない | 度数 15 % | 222 79.3% | 43 15.4% | 280 100.0% |
| | どちらともいえない | 調整済み残差 -8.8 | 7.0 | 1.3 | |
| 問34. あなたは、死刑制度があることについて賛成ですか、反対ですか (recoded) | 反対 | 度数 2 % | 46 30.9% | 101 67.8% | 149 100.0% |
| | 反対 | 調整済み残差 -7.2 | -8.0 | 21.1 | |
| | 合計 | 度数 365 % | 860 61.1% | 182 12.9% | 1407 100.0% |
| | 合計 | | | | |

「今より増やすべきだ」とする割合は、死刑制度に賛成のものに特に高く（35.6%）、「今より減らすべきだ」とする割合は、死刑制度に反対のものにおいて特に高くなっている（67.8%）（ $\chi^2(4, N=1407)=562.746, p<.001, V=0.447$ ）。

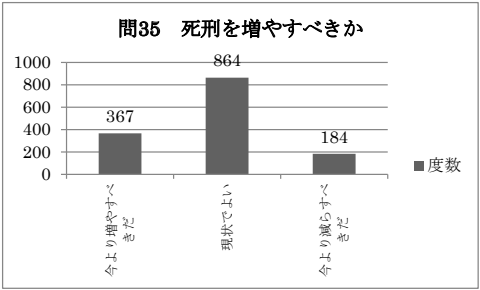
35. 問35

この問35は、死刑判決の数を現状より、増やすべきか減らすべきか尋ねたものである。

問35. あなたは、現在の死刑判決の数を、今より増やすべきだと思いますか、減らすべきだと思いますか。（○は1つ）

| | | 度数 | 有効% | 累積% |
|-----|-----------|-----|------|------|
| 有効数 | 今より増やすべきだ | 367 | 25.9 | 25.9 |

| | | | |
|-----------|------|-------|-------|
| 現状でよい | 864 | 61.1 | 87.0 |
| 今より減らすべきだ | 184 | 13.0 | 100.0 |
| 合計 | 1415 | 100.0 | |
| 欠損値 | 9 | 46 | |
| 合計 | 1461 | | |



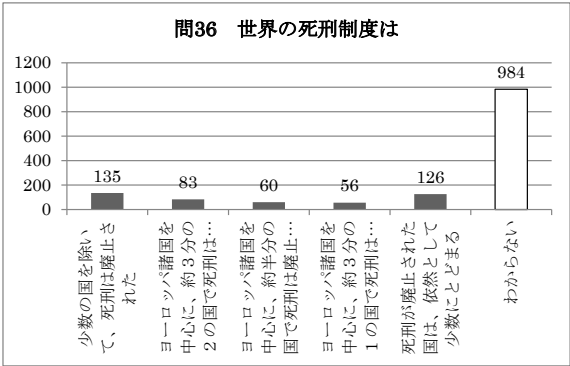
「現状でよい」が 61.1%で圧倒的多数である。「今より増やすべきだ」が「今より減らすべきだ」の約倍存在する。

36. 問 36

この問 36 は、世界の死刑制度についての知識を確認するために尋ねたものである。

問 36. あなたは、世界の死刑制度は、ここ十年間、どのように変わっているとお考えですか。（○は1つ）

| | | 度数 | 有効% | 累積% |
|-----|------------------------------|------|-------|-------|
| 有効数 | 少数の国を除いて、死刑は廃止された | 135 | 9.3 | 9.3 |
| | ヨーロッパ諸国を中心に、約3分の2の国で死刑は廃止された | 83 | 5.7 | 15.1 |
| | ヨーロッパ諸国を中心に、約半分の国で死刑は廃止された | 60 | 4.2 | 19.3 |
| | ヨーロッパ諸国を中心に、約3分の1の国で死刑は廃止された | 56 | 3.9 | 23.1 |
| | 死刑が廃止された国は、依然として少数にとどまる | 126 | 8.7 | 31.9 |
| | わからない | 984 | 68.1 | 100.0 |
| | 合計 | 1444 | 100.0 | |
| 欠損値 | 9 | 17 | | |
| 合計 | | 1461 | | |



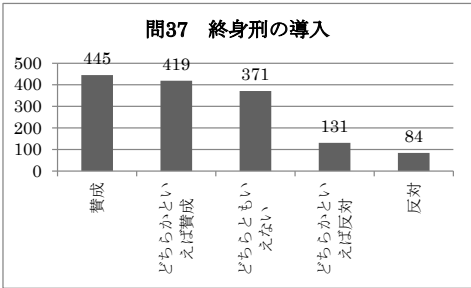
「わからない」が68.1%と圧倒的多数である。選択肢が細かったため、正確にはわからないと答えたのかもしれない。正解は、「少数の国を除いては廃止された」で正確な知識を持つ者は1割にも満たない。

37. 問 37

問 37 は、終身刑の導入について意見を尋ねたものである。

問 37. 絶対に一生刑務所から出られない終身刑を導入することについて、あなたは賛成ですか、反対ですか。(〇は1つ)

| | | 度数 | 有効% | 累積% |
|-----|------------|------|-------|-------|
| 有効数 | 賛成 | 445 | 30.7 | 30.7 |
| | どちらかといえば賛成 | 419 | 28.9 | 59.6 |
| | どちらともいえない | 371 | 25.6 | 85.2 |
| | どちらかといえば反対 | 131 | 9.0 | 94.2 |
| | 反対 | 84 | 5.8 | 100.0 |
| | 合計 | 1450 | 100.0 | |
| 欠損値 | 9 | 11 | | |
| 合計 | | 1461 | | |



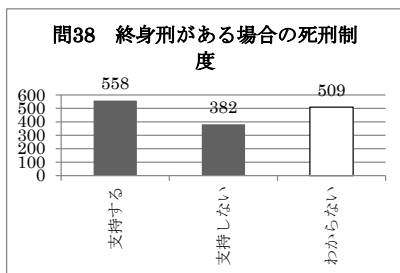
「賛成」が最大多数で、30.7%、「どちらかといえば賛成」を合わせると約六割。「反対」と「どちらかといえば反対」は、合計で、14.8%しかない。導入に伴う問題点に気づいている人は少ないことが推察される。

38. 問 38.

この問 38 は、もし終身刑が導入された場合、死刑を支持するかどうか尋ねたものである。

問 38. もし仮に、絶対に一生刑務所から出られない終身刑が導入された場合、あなたは死刑を支持しますか。(〇は1つ)

| | | 度数 | 有効% | 累積% |
|-----|-------|------|-------|-------|
| 有効数 | 支持する | 558 | 38.5 | 38.5 |
| | 支持しない | 382 | 26.4 | 64.9 |
| | わからない | 509 | 35.1 | 100.0 |
| | 合計 | 1449 | 100.0 | |
| 欠損値 | 9 | 12 | | |
| 合計 | | 1461 | | |



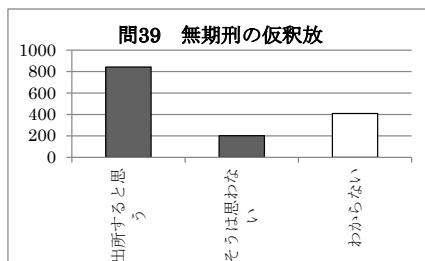
死刑を「支持しない」が 26.4%、「支持する」が 38.5%となり、終身刑があれば、死刑を支持しないがかなり増加する。

39. 問 39.

この問 39 は、無期懲役囚の多くの人が 10 年から 20 年で仮釈放されると考えているかどうか尋ねたものである。無期刑の運用に対する正確な知識の有無を調査することを意図した質問である。

問 39. あなたは、無期懲役になっても、多くの人が 10 年から 20 年で仮釈放され、出所すると思いますか、思いませんか。(〇は1つ)

| | | 度数 | 有効% | 累積% |
|-----|---------|------|-------|-------|
| 有効数 | 出所すると思う | 843 | 58.0 | 58.0 |
| | そうは思わない | 202 | 13.9 | 71.9 |
| | わからない | 409 | 28.1 | 100.0 |
| | 合計 | 1454 | 100.0 | |
| 欠損値 | 9 | 7 | | |
| 合計 | | 1461 | | |



無期刑囚は10年か20年で出所すると信じている人が過半数をかなり超えている。「わからない」の選択肢をおいたにもかかわらず、誤った確信を持っているのは、メディアで誤解を振りまいている人がいるためと考えられる。他方、正解者も13.9%いることには留意したい。

40. 問 40

この問40は、刑事司法について比較的知られていることについて知識程度を計測するために尋ねたものである。

問 40. あなたは次の (a) ～ (e) それぞれの文章についてどう思いますか。あなたのお考えに近いものをそれぞれ1つずつお選びください。

| | そのとおりだと思う | そうは思わない | わからない |
|---|-----------|---------|-------|
| (a) 殺人を犯しても一定年数が経過すると、裁判にかけられなくなる（公訴時効）・・・・・・・・・・・・・・・・ → | 1 | 2 | 3 |
| (b) 刑務所に長く入れれば入れるほど、出所後、再び犯罪を犯す可能性は低くなる・・・・・・・・・・・・・・・・ → | 1 | 2 | 3 |
| (c) 日本では、死刑は絞首刑によって執行されている・・・・・・・・ → | 1 | 2 | 3 |
| (d) 日本では1989年から1993年までの間、死刑が執行されなかった期間があるが、この時期、凶悪犯罪の発生率が上がった・・ → | 1 | 2 | 3 |
| (e) イギリスやドイツでは、死刑を廃止したが、殺人の発生率は上がらなかった・・・・・・・・・・・・・・・・ → | 1 | 2 | 3 |

問 40 (a) 殺人を犯しても一定年数が経過すると、裁判にかけられなくなる(公訴時効)

| | 度数 | 有効% | 累積% |
|-----------|-----|------|------|
| 有効数 | | | |
| そのとおりだと思う | 220 | 15.3 | 15.3 |
| そうは思わない | 763 | 53.1 | 68.5 |

| | | | |
|-------|------|-------|-------|
| わからない | 453 | 31.5 | 100.0 |
| 合計 | 1436 | 100.0 | |
| 欠損値 9 | 25 | | |
| 合計 | 1461 | | |

問 40 (b) 刑務所に長く入れれば入れるほど、出所後、再び犯罪を犯す可能性は低くなる

| | 度数 | 有効% | 累積% |
|-----------|------|-------|-------|
| 有効数 | | | |
| そのとおりだと思う | 112 | 7.8 | 7.8 |
| そうは思わない | 913 | 63.4 | 71.2 |
| わからない | 414 | 28.8 | 100.0 |
| 合計 | 1439 | 100.0 | |
| 欠損値 9 | 22 | | |
| 合計 | 1461 | | |

問 40 (c) 日本では、死刑は絞首刑によって執行されている

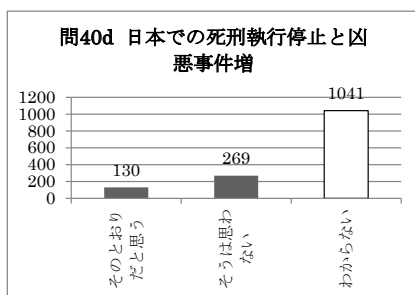
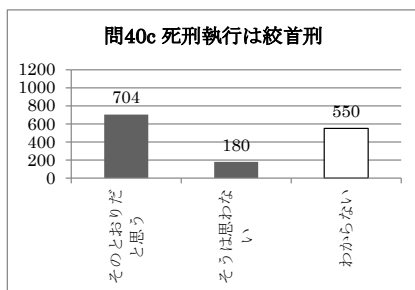
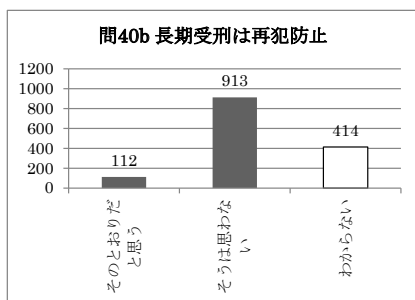
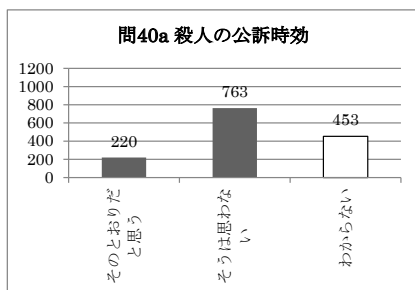
| | 度数 | 有効% | 累積% |
|-----------|------|-------|-------|
| 有効数 | | | |
| そのとおりだと思う | 704 | 49.1 | 49.1 |
| そうは思わない | 180 | 12.6 | 61.6 |
| わからない | 550 | 38.4 | 100.0 |
| 合計 | 1434 | 100.0 | |
| 欠損値 9 | 27 | | |
| 合計 | 1461 | | |

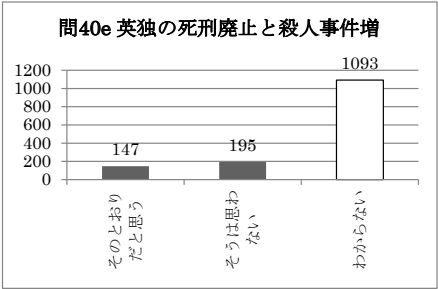
問 40 (d) 日本では 1989 年から 1993 年までの間、死刑が執行されなかった期間があるが、この時期、凶悪犯罪の発生率が上がった

| | 度数 | 有効% | 累積% |
|-----------|------|-------|-------|
| 有効数 | | | |
| そのとおりだと思う | 130 | 9.0 | 9.0 |
| そうは思わない | 269 | 18.7 | 27.7 |
| わからない | 1041 | 72.3 | 100.0 |
| 合計 | 1440 | 100.0 | |
| 欠損値 9 | 21 | | |
| 合計 | 1461 | | |

問 40 (e) イギリスやドイツでは、死刑を廃止したが、殺人の発生率は上がらなかった

| | 度数 | 有効% | 累積% |
|-----------|------|-------|-------|
| 有効数 | | | |
| そのとおりだと思う | 147 | 10.2 | 10.2 |
| そうは思わない | 195 | 13.6 | 23.8 |
| わからない | 1093 | 76.2 | 100.0 |
| 合計 | 1435 | 100.0 | |
| 欠損値 9 | 26 | | |
| 合計 | 1461 | | |





長期刑が再犯防止効果があると思わないが、全体の最大解答 63.4%も占めた。「そう思う」の少なさでもトップで、7.8%である。殺人の公訴時効が廃止されたこと、死刑執行方法が絞首刑であることは、約 5 割の人が知っている。勘違いしている人は、1 割から 2 割と少数である。

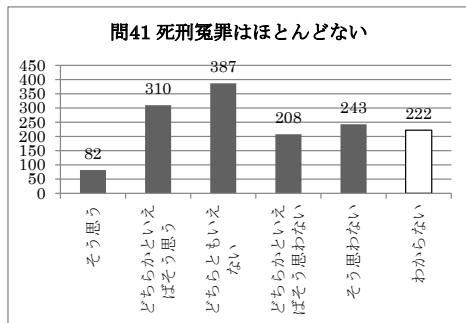
日本での死刑執行停止期間での凶悪犯罪増加と、英独での死刑廃止後の殺人事件増については、「わからない」の回答が 7 割を超えて圧倒的であった。どちらも増えたと思わない」が「思う」を上割っている。正しい情報を持っている人が 1 割弱いるために、正解が優勢となったと考えられる。

41. 問 41

この問 41 は、死刑判決が冤罪である可能性の認識について尋ねたものである。

問 41.「日本では、真犯人ではない人が死刑判決を下されることはほとんどない」という意見があります。
 あなたはこの意見についてどう思いますか。(○は1つ)

| | | 度数 | 有効% | 累積% |
|-----|----------------|------|-------|-------|
| 有効数 | そう思う | 82 | 5.6 | 5.6 |
| | どちらかといえばそう思う | 310 | 21.3 | 27.0 |
| | どちらともいえない | 387 | 26.7 | 53.7 |
| | どちらかといえばそう思わない | 208 | 14.3 | 68.0 |
| | そう思わない | 243 | 16.7 | 84.7 |
| | 6 | 222 | 15.3 | 100.0 |
| | 合計 | 1452 | 100.0 | |
| 欠損値 | 9 | 9 | | |
| 合計 | | 1461 | | |



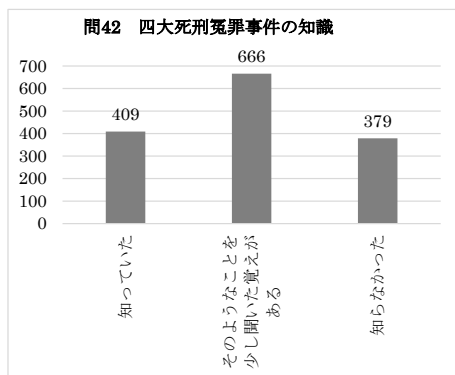
「どちらともいえない」が最大だが、「そう思わない」と言い切る人が 16.7%とかなりいる。袴田さんの釈放ニュースの影響を考慮すべきように思われる。「わからない」も多数いることには注目すべきである。

42. 問 42.

この問 42 は、四大死刑冤罪事件の知識を尋ねたものである。

問 42. 日本で 1980 年代に、死刑判決がいったん確定したのち、裁判がやりなおされて、無罪判決が下された人が 4 人います。あなたはこのことを知っていましたか、知っていませんでしたか。
(○は1つ)

| | | 度数 | 有効% | 累積% |
|-----|--------------------|------|-------|-------|
| 有効数 | 知っていた | 409 | 28.1 | 28.1 |
| | そのようなことを少し聞いた覚えがある | 666 | 45.8 | 73.9 |
| | 知らなかった | 379 | 26.1 | 100.0 |
| | 合計 | 1454 | 100.0 | |
| 欠損値 | 9 | 7 | | |
| 合計 | | 1461 | | |



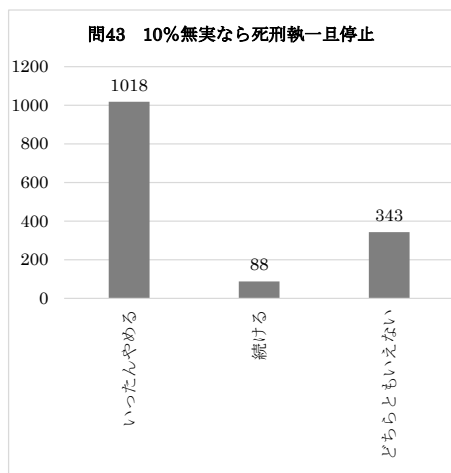
「そのようなことを少し聞いた覚えがある」が 45.8%と最大。「知っていた」「知らなかった」が双方 3 割弱であった。

43. 問 43.

この問 43 は、死刑囚に無実の人が 10%含まれていれば死刑執行を一旦停止するか尋ねたものである。

**問 43. 現在の日本の死刑囚は約 130 人います。仮にそのうち 10%、つまり 13 人が無実だったと
わかったとします。その場合、死刑を執行することをいったんやめたほうがよいと思いますか、
それとも続けたほうがよいと思いますか。（○は1つ）**

| | | 度数 | 有効% | 累積% |
|-----|-----------|------|-------|-------|
| 有効数 | いったんやめる | 1018 | 70.3 | 70.3 |
| | 続ける | 88 | 6.1 | 76.3 |
| | どちらともいえない | 343 | 23.7 | 100.0 |
| | 合計 | 1449 | 100.0 | |
| 欠損値 | 9 | 12 | | |
| 合計 | | 1461 | | |



「いったん止める」が 7 割に達して圧倒的である。それでも続ける人は 6.1%である。

第四章 今後に向けて

本調査の結果を活用して、今後、本格的な分析を、学会報告、論文発表で重ねていきたい。

なお、本調査の調査票の質問は、先行研究の調査票から学びつつ作成した。ひとつひとつの質問について参考にした調査の名を挙げるべきであるが、その先行研究も、さらにその先行研究を参照しており、ひとつの表でわかりやすく示すことは困難である。ここでは、参考にした先行調査報告を簡単にリストアップするにとどめさせていただきたい。

以下を参照し場合によって少しアレンジしている。

- ・内閣府「更生保護事業に関する世論調査」1979年
- ・棚瀬 孝雄著「日本人の権利観・刑罰意識と自由主義的法秩序(1)」法学論叢 京都大学法学会 157巻4号 1-32頁 2005年
- ・棚瀬 孝雄著「日本人の権利観・刑罰意識と自由主義的法秩序(2・完)」法学論叢 京都大学法学会 157巻5号 1-32頁 2005年
- ・松村良之、木下麻奈子他「日本人の法意識」はどのように変わったか—1971年、1976年、2005年調査の比較— 北大法学論集 57巻4号 435-474頁 2006年
- ・松村良之・藤本亮・木下麻奈子他「現代日本人の法意識の全体像—2005年調査結果の概要」北大法学論集 57巻3号 1401-1476頁 2006年
- ・松村 良之、木下 麻奈子、太田 勝造 他「裁判員制度と刑事司法に対する人々の意識：2011年第2波調査に基づいて」北大法学論集 62巻4号 1110-1025頁 2011年
- ・松村 良之「応報か行動コントロールか：刑罰動機をめぐって」菊田幸一・西村 春夫・宮澤 節生編『社会の中の刑事司法と犯罪者』日本評論社 2007年
- ・日本文化会議「現代日本人の法意識」第一法規出版 1982
- ・佐藤舞、木村正人、本庄武 著「死刑をめぐる「世論」と「輿論」」福井 厚、山崎 優子、高山 佳奈子 他著『死刑と向き合う裁判員のために』現代人文社 65-85頁 2011年。

参考文献

日本弁護士連合会 2013「死刑制度に関する政府の世論調査に対する意見書」
http://www.nichibenren.or.jp/library/ja/opinion/report/data/2013/opinion_131122_4.pdf (2015年3月12日参照)

法務省 2014「死刑制度に関する世論調査についての検討会（第1回会議）議事録」
<http://www.moj.go.jp/content/0011300>

（かわい・みきお 桐蔭横浜大学）
（くずの・ひろゆき 一橋大学）
（きのした・まなこ 同志社大学）
（ひらやま・まり 白鷗大学）
（くば・ひでお 京都産業大学）
（きむら・まさと 高千穂大学）

